KEIJO NIPPO (土曜日) (明治三十九年九月八日第三種郵便物認可) (年中無休刊)

京城日報

九日夕刊

定價 一部金五錢 一ヶ月金八十錢 三ヶ月分前金二圓三十錢 六ヶ月分前金四圓五十錢 一ヶ年分前金八圓五十錢

廣告料 五號活字十六字詰一行金八拾錢 六號活字十八字詰一行金六拾錢

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 編輯局 営業局

○米大使ガスリー氏逝く
突然卒倒終に起たず

駐日米國大使ヂョージ、ダブリユー、ガスリー氏は八日午後東京府下駒澤村のゴルフ倶樂部に於てゴルフ遊戯中午後四時頃突然卒倒せしより居合せたる會員等は午後七時自動車にて京橋區築地聖路加國際病院に運び種々治療を加へたるも午後八時十分終に逝去せり享年六十九歳(東京特電)

逝去せる米國大使ガスリー氏

○米大統領に宸翰奉呈
大統領再任祝賀の爲め=日本が獨逸に誘引せられざる保證と認めらる

華盛頓來電=駐米佐藤大使は三月六日大統領ウヰルソン氏に對し同氏の大統領再任を祝賀すると同時に我が天皇陛下の宸翰を奉呈せり、此の事は獨逸が合衆國に對しての陰謀に日本を誘引する所あるも當然拒絶し去る可きものとの證明を與へたるものと認められ深く大統領を初め親近者をして合衆國に對し日本の友情的態度の渝るなきを感ぜしめたるものゝ如し(紐育電報)

○英首相と愛蘭自治

英國首相ロイド、ヂョージ氏は議會に於て聲明して曰く、政府は愛蘭中明確に自治を要求する部分に對しては是を許容せんとするの用意あり唯其の意に逆ひてウイルスターを強ひて包括し此の中に繰り込まんとする意なし(倫敦電報)

○三日間撃沈二十萬噸

獨逸公報は三日間に二十萬噸の汽船を撃沈せりと發表せり(紐育電報)

○段總理國會解散の決意

段總理は國會に於て斷交案否決せば直ちに國會の解散を命ずる意嚮也と(北京電報)

○對獨斷交確定の通牒

段總理は各駐外公使及各省督軍に對し對獨逸斷交確定の件を通牒したり(北京電報)

○孫協商國側加入反對

孫逸仙氏は協商國側加入反對意見を英國首相に對し打電したり(北京電報)

○西伯利亞鐵道大計畫説

東清鐵道會社側の消息に據れば露國政府は西伯利亞開發の爲め該地境に於て鐵道十六線を新設するに確定せり此延長一萬五百二十一露里にて本春より五箇年間に完成の豫定なりと(奉天電報)

○赤峰領事開館

内蒙古赤峰帝國領事館は二月二十七日より開館の旨外務省に報告ありたり(東京電報)

○匈國首相遭難

匈牙利首相チツナ伯は最近に於て前後二回暗殺の難に遭ひ二回共辛うじて危難を免れたりと(紐育電報)

○禁輸と生糸暴落

英國禁輸等の影響より横濱市場に於ける生糸暴落せり(東京電報)

○林公使の著發

林公使は九日午前八時三十分新羅丸にて釜山著鐵道ホテルに少憩の後同十時三十分專用一等寢臺車にて北行せるが奉天に一泊の上北京に向ふ豫定なり(釜山特電)

○白仁長官通過

白仁關東都督府民政長官は九日午前入港の新羅丸にて釜山著同十時三十分發列車にて北行せり(釜山特電)

○英國禁輸影響
朝鮮に少し

今般英國政府に於ては軍事上の目的に供せられざる一切の物品に對し英本國に輸入することを禁止または制限するに決せしが此結果が朝鮮に及ぼす影響如何を見るに朝鮮より英本國に對する輸出額は大正三年に在ては四萬三千二百四十圓、大正四年に在りては一萬二千百八十五圓、大正五年に在りては六萬六千九百六十八圓にして大正五年は最も多額を示せりと雖も而かも七萬圓に達せざる状況なるを以て殆ど痛痒を感ぜず影響する處極めて微々たる可し

○中將總督訪問

八日朝歸任せる第十九師團長立花中將は九日午前十時總督府に長谷川總督を訪問歸任の挨拶を爲せり

○政務總監歸期

東上中なる山縣政務總監は十一日東京出發十六日夜南大門驛著汽車にて歸任の事に決せる旨遠藤秘書官より總督府に電報ありたり

○ガ氏逝去公報

駐日米國大使ジョージ、ダブリユー、ガスリー氏逝去の旨九日午後二時米國領事館に公報ありたり

○林公使の通過

駐支公使男爵林權助氏は北京へ歸任の途九日午後九時南大門驛著貴賓室にて小憩の後同九時四十分發列車にて北行の筈なり、總督府よりは長谷川總督代理として齋藤副官、並に久水外事課長等同驛に迎送す可し

○白仁長官北行

關東都督府民政長官白仁武氏は議會列席のため東上中の所九日午後九時南大門驛著同九時四十分發列車にて北行歸任すべし

米國大使の訃

駐日米國大使ジョージ、ダブリユー、ガスリー氏の訃は東電所報の如し氏は一千八百四十八年ペンシルバニヤ州ピツバアグ市に生る資性聰明銳達若冠にして同國二三の大學に學び文學博士法學博士並に名譽大博士の學位を贏てり、法大卒業後は辯護士を業とせしがウヰルソン氏第一次大統領たるに及び擢んでられて駐日大使に任ぜらる爾來在職四年温厚篤實の人格を以て日米兩國間の親善に貢獻せる處鮮少ならざりしに計らずも今回の訃報に接す享年六十九歳悼む可し矣

○汪特使通過期

支那特使汪大燮氏一行は十一日午前八時北京發十三日頃南大門驛通過の豫定なるが總督府よりは總督使として武官を新義州に出迎へしむる筈なり

○國分長官一行出發

既報の如く國分司法部長官、鄕津京城地方法院檢事正の一行は九日午前自動車にて事務巡視の爲め春川へ向け出發せり

○隈部警務部長出發

隈部京畿道警務部長は松尾特務曹長森警部外三名の隨員と共に九日午前八時半管内巡視の爲め自動車にて加平へ向へり

○府内隊署長會議

京畿道警務部に於ては京城府内各憲兵隊並に各警察署長を召集し八日午前九時より恒例會議を開き巡閲其他に關し打合をなし正午十二時散會せり

○工作船の來航
全羅丸の救助著手

江原道甕水沖にて坐礁せる朝郵汽船全羅丸救助のため二日小樽を發せし日本海事工業所々屬工作船は八日現場著吉田朝郵專務田代東京海上保險技師到著後其の救助作業に取掛るべしとの事なるが其の順序は先づ坐礁船の周圍に俵詰め砂礫を投じて船體のローリングを防ぎ而して積荷汽罐等の取り外しをなし其の浮揚を行ふものなり

○紡績會社進捗

紡績會社[illegible]法規に基き木村健夫松井邑次郎の兩氏急遽東上せしが[illegible]に青木十三郎氏と會見し同氏の援助に依り財界有力者と種々協議せし結果、細瀨巽之助、荒井泰治、賀田金三郎、岡部幸之助、松方正熊、田中[illegible]、山本悌二郎氏等を中心とし青木氏亦之に加はり木浦國田木村其他有力者之に加盟し愈其の具體的に實現するに至りしを以て其内容を明確に發表するも數月を出でざるべく全羅南道界の一大[illegible]を見るもあるべく[illegible]長官は本件に關し其筋に内申し事情の徹底に斡旋さるゝ要路に[illegible]も居れば再度の運動は極めて順調なるべし

○仁川府豫算內容

仁川府にては八日府協議會を召集し大正六年度歲入出豫算の内容を開くに歲入出共に七萬八千六百十四圓にして前年度に比し六百十五圓の增を見たりしが其の内譯は

△歲入 に於ては經常部六萬四千七百八十五圓臨時部一萬三千二百七十九圓にして此れが增減の理由は前年度に比し稅に於て稅率は前年度に比し何等の變動無ければ共營般の移動に依り二百一圓を增加し營業稅は主として鮮人營業者中商業其他の事由に依り八百九十九圓を減じ雜種稅は荷車船其他の課稅物件の增加に伴ひ二千六百十六圓を增加し使用料手數料に於ては墓地屠場使用料證明手數料督促手數料增加の爲め千百十四圓を增し臨時部に於ては土木費に對する補助千五百圓を見込みたる者なりと

△歲出 に於ては經常部四萬五千二十四圓臨時部三萬三千四十圓にして其の增減の理由としては花町道路改修費六千四百圓と一般下水溝改造費として千八百十五圓を日本公園讓渡の結果其の維持費として五百圓を補助金として何れも增加し、其他新たに目下編纂中なる仁川發展史編纂費補助として四百圓、今秋催ほさる可き生産品品評會補助として三百圓を計上したるが其他は多少增減あるも前年度の項目を踏襲する事となせり次いで大正五年度追加豫算として消防機械完備の爲め地方費より五百圓の補助を受けたるを以て之れを五年度豫算中に追加する件五年度更正豫算として昨年五月消防手池邊正七が外里に於て消防中誤まつて發疾となりたるに對し入院治療費退職手當七百圓を給與したる件其他基本財產設置の件基本財產蓄積及び管理條令制定の件大正六年度市街地稅家屋稅の附加稅賦課率を定むる件等を諮問したり(仁川)

○仁川解合と強弱
取引所

去る五日突然立會を停止したると同時に解合委員として松本大日[illegible]田の三氏を選定し解合を勸誘する處ありたるも双方の主張に懸隔ありて一時不調に終りたりとの事なるも猶ほ種々と斡旋しつゝありとの噂あり一部には力之が勸誘を爲さんと部署を定めて早くも解合の成立を見越し解合後の先限は急轉直下の暴落を演ずるならんと吹聽したるより市場の人氣は大に賣に傾倒し來りたる者の如く利喰の續出と新規の賣物に昨後場十三圓三十六錢より三十錢丁度と崩落したるが又一部には到底解合談は不調に終る者との觀測にて大に買向ひたるより人氣は益々氣迷を生じたる理にも大激戰を演出し忽ち四十二錢と跳ね返したるが第一節の立會のみにて賣買に五萬石に近き取組を爲すに至れり然るに取引所は仲買人を直に召集して協議する處あり四時十分に至つて第二節の立會を爲したるが依然大激戰にて是又一立會に五萬石以上の取組を見るに至り更に四十三錢と上げたり斯る成行にて解合問題は忽ち先限に影響し來る者の如くにて當業者中の停止は如何に人氣の上に動搖を生ずるや豫測し難く解合の調子果して何れの材料となるや難計も徒らに停止を繼續するは市場の爲め措くに堪へず此際相當の途を講じ速に解停せん事を希望すと語れる者あり(仁川支局)

○東拓所長等入京

東拓の各出張所長會議は十三日より開始の事となり居るに付各所長は十一日迄に入京し來るべしと

○大原秘書役東上

朝鮮銀行秘書役大原胤夫氏は重要行務を帶び十日午前八時三十分南大門驛發列車にて東京に直行する由なるが其の歸任は總裁と前後すべく多分四月十日頃とならん

仁川

▲熊谷校長上京 京城に於て開催中の公立校長會議に出席の爲め熊谷仁川商業校長は八九兩日上京したり▲尙武館例會 仁川濱町尙武館にては十日午後七時より月次試合を催ほす由▲有功章下附 今回赤十字社より高田光子氏へ二等有功章[illegible]子富岡トク兩氏に三等有功章下附ありたり

釜山

▲貨物船出港 關釜連絡船貨物專用船として鐵道院に於て傭入れたる山口縣長谷德四郎所有船天佑丸(七三三噸)は八日午前十一時釜山入港京釜穀物を積載し九日午前下の關へ向け出港すべし▲釜山徵兵檢査日割 大正六年度釜山徵兵檢査及び日割は釜山西町東本願寺に於て四月四日より午後一時迄執行の筈にて四月四日は第十、第十一、第十二區管、同五日は第一、第二、第三、第四、第六、第八、第九、第十三、第十四、第十五、第十六區管、同六日は第五、第十一區管、七日は第十七、第十八區管にして檢査官は木下亮九郎氏なり

人事消息

▲[illegible]氏(…武官副長) 九日[illegible]
▲[illegible]內地より入京南下へ
▲大井[illegible]中尉(清州憲兵隊副官) 同上
▲三原[illegible]氏(…技師) 同上
▲長谷川義雄氏(…部長) 八日入京
▲[illegible](…在[illegible]領事) 九日[illegible]
▲宮林[illegible]三郎氏(慶南商務課長兼觀) 十一日出發
▲鈴木鎮太郎氏(朝鮮鐵道幹事) 八日朝入京
▲下木[illegible]氏(…釜山支部長) 同上
▲磯村[illegible]氏(…) 七日夜退京
▲小林[illegible]之助氏(明治炭坑技師) 九日朝同上
▲奥田榮氏(パシナル社員) 九日朝入京大邱へ
▲宇谷[illegible]太郎氏(龍山衛戍病院長)八日夜內地へ
▲佐藤恒丸氏(駐箚軍々醫部長) 八日夜歸任

逐鹿夜話

△或る人が花井卓藏君に選擧は何うですかと問ふと先生例の頭髮をモジヤ〱とやつて面倒臭さ相な顔をして曰く『選擧なぞと云つて騷いだ處でドウなるものか戰には君三バンが必要だよ之が具備しなければ勝てるものではない』と扨て三バンとは何の事ですかと聞くと『第一が順番第二が鞄第三が地盤之れが即ち三バンさ』

△政友會の村野常右衛門君は東京府下八王子町を根據として候補に立ち今諸所で政見發表を演つて居るが村野君の演說と來たら珍無類で他の候補者等が聽衆に愛嬌を振り蒔くとは反對で聽衆を叱り付けるのだから大概の者は恐縮して了ひ反對派の壯士なども遂にはスゴ〱逃げ出すとは面白い

△東京から立候補の荻野滿之助君が政見發表演說の時矢鱈に『我輩が洋行した時に』と洋々〱振り廻して居ると野次馬が『滿洲洋行ッ』とまぜツ返して立往生鳥渡之れも英國のゼノワ式だ

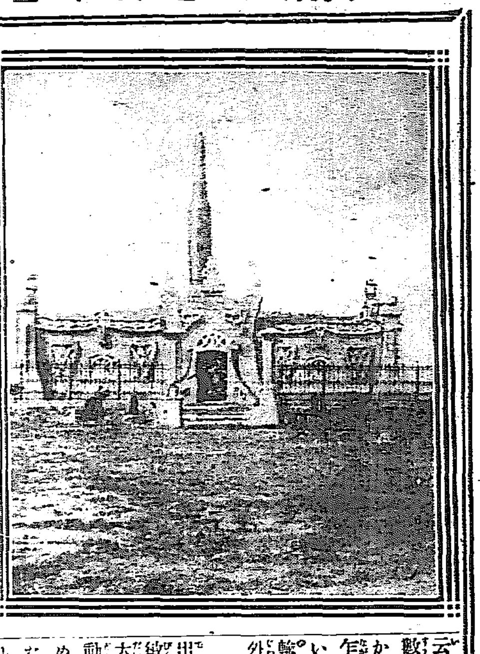
△東京市から名乘を揚げた厚田正二と云ふ人は勞働者を代表する候補者が一人もないと云ふのを慨して出馬する相な同人は神田の或印刷所に居るとの事當選すれば之れが勞働代議士の嚆矢か

祝陸軍記念日

京城南大門通二丁目
株式會社 土佐紙會社 京城支店
電話四三一五番 電信略號(〇二) 振替京城八五九番
和洋紙販賣
印刷製本

祝陸軍記念日

京城本町二丁目(電話長一一番) 株式會社 第一銀行京城支店
京城本町一丁目(電話長五八番) 株式會社 百三十銀行京城支店
京城黃金町二丁目(電話長四二〇番) 株式會社 十八銀行京城支店
京城南大門通二丁目(電話長五二四番) 株式會社 漢湖農工銀行
京城南大門通一丁目(電話五五八番) 株式會社 朝鮮商業銀行
京城南大門通一丁目(電話長一八九五番) 株式會社 韓一銀行
京城南大門通二丁目(電話長一八六一番) 株式會社 漢城銀行
京城本町二丁目(電話四三一番) 株式會社 京城銀行



▽奉天忠魂碑

生死の間に得た此活教訓

▢憶起す、十四年前の今日

▽凍つた握飯で八日凌いだ

▽勝利は氣力と體力の強いものへ

‖市川第三十九旅團長の談‖

日露役の當時私は現十九師團長立花閣下と共に第四軍野津軍に隨つて居つた其時立花閣下は四軍の副長をして居られた今より十四年前の三月八日奉天附近の大會戰に自分は後備步兵二箇旅團を其れに砲兵旅團を加へて

▣大久保支隊を編成して其參謀▣

として行つて居つたが彼の有名な萬寶山(沙河の右岸)の敵陣地を三月一日から愈々攻擊を開始し敵前六百米突位迄前進したが敵から散々銃砲彈の御見舞を受け八日の間と云ふものは其所へ喰付いたまゝ動く事が出來ないと云ふ始末で何にしろ土地は全部結氷して土地を掘る事も出來ねば物を煮る事も出來ず全く敵の火力に曝らされて居るので死傷者が多くても收容する處もなく僅かに後方で握飯を作つて戰線に送ると云ふ有樣其握飯が戰線に配布される時分には凍り付てしまつて口に入れるとバリバリ音がする樣なやつを辛抱して食つて居つた此れでは

▣到底も兵士の身體が續くまい▣

金が掛つてもかまはん肉でも食はせようと思つても附近には何處を尋ねても牛は愚か豚一頭居ない詮方なく不眠不休で凍つた握飯を噛りつゝ戰爭を續けて居る內三月八日拂曉から敵は退却を始めた我軍は之れを知つて追擊に移つたが何分腹が空いて居るのと一週間以上の不眠とで兵士の體は綿の樣に勞れて動く事が出來ない其れでも勇を鼓して勞れ切つた足を引ずる樣にして敵を渾河の附近迄追詰めた此戰鬪で出した死傷者が一萬近くの將卒の內約六千人許りあつた其時に自分は考へたね—戰爭には

▣餘程體力と氣力がなければ▣

いざ決戰と云ふ場合になると役に立たない智識の向上と共に兵器等も段々と進步して來ると戰爭が永續する事になる而すると益々氣力體力の養成が必要だ幸に日露戰爭は此體力と氣力の鍛練が充分であつたゝめ敵に打勝つ事が出來たのだ此點は用兵の任に當る者の心得可き事と思ふ(平壤支局)

司令部へ砲彈命中

▽變に處し機に應ずるの妙

▽更に二個師團の兵力ありしならば

‖久保第四十旅團長の談‖

余は日露戰爭の當時第二軍第四師團の參謀であつた南山、蓋平、熊岳城、大石橋、守山堡、遼陽、沙河、黑溝臺、奉天の諸戰に參加した此大戰を通じて民族性の相違が著しく感ぜられた辛抱強いと云ふたら日本人より露西亞人の方が數等上である、其頑強な忍耐力はなかく日本人の及ぶ所でない、併し乍ら機に臨み變に處する機智に乏しい日本人は忍耐に於て彼等に一籌を輸する所ありしと雖も、一たび意想外の場合に遭遇しても忽ち

✕適當の處置 をとる事が出來た、所謂機先を制するの行動に敏速であつた、痛快なりしは奉天の大會戰であつたけれど二月十五日運動大開始をなす前後豫定の行動を進めつゝあつた故餘り苦心もせなかつた、遼陽戰には少なからず苦しめられた、余等の軍は當時左翼に戰陣を張つてゐたが、當時雨期に入り彈藥輜重の運送困難と云つたら全く豫想以上であつた、加之ならず右翼より敵の大軍が襲擊すると云ふ報告を得た、我軍も是に對する覺悟はしてゐたけれど幸ひに

✕敵軍が襲擊 して來なかつた當時の事情よりすれば若し報告の如く敵の大軍が襲擊したなら、それこそ滿洲軍の運命に關するのであつた司令部には作戰の苦心最中忽ち砲彈が家根を打ち拔きて室內に破裂した是が爲め師團長、參謀長も負傷された三月十日の奉天會戰は已に世人の熟知してゐる通りであるが若し我軍に今一二師團の兵力があつたならば敵を全く袋中のものにしたであらう惜むらくは兵力の不足なりし爲長蛇を逸したのであつた、併し乍ら

✕此大會戰に 於て一大教訓を得た、二月下旬より三月十日迄全軍全く寢食を忘れ渾身の精力を注ぎ、滿腔の忍耐を出して努力した、此戰勝は僅かに天祐に浴したに相違ないが、又此精力と忍耐との結果であつた、戰勝は最後の五分間にありとは此邊の消息を洩すのであらう、若し何事によらず是丈の精力と努力とを傾けたならば成功せぬものはない此一大教訓は戰爭のみでない、萬般の事に於て適切なるものあると信ずる(大邱支局)

◉大金を横領す

忠南瑞岐郡金義面實室里李泰榮(三二)は其の從兄弟なる同里の金重默より同人所有の天安郡廣德面豐歲面所在の土地時價一萬圓以上のものを擔保として金策方を依賴されたるより昨年十一月中同里の鄭泳琪(三六)と共に京城貫鐵洞隆興株式會社より金六千圓を借入れ內金一千八百二十圓を兩名にて横領消費したること此程發覺し兩名は鐘路署に檢擧せられ檢事局へ送らる

●銀行支配人一萬圓窃取

靜岡縣森町銀行にて昨年末行金一萬圓の紛失あり犯人は支配人代松圓藏同行員栗原要三郎と判明し八日濱松分監に收監されたり(大阪特電)

◉小學校訓導殺せらる

滋賀縣蒲生郡武佐村小學校訓導藤川英三郎(四七)は八日夜何物かに謀殺されたり(大阪特電)

◉捕繩の儘逃げた賊

龍山二村洞李萬龍は此程窃盜現行犯人として漢江派遣所の手に捕はれ取調べの結果同人は一月十一日永登浦警察署出張所に引致看視中捕繩の儘逃走したる事判明せり

◉幼少女の行倒れ 高陽郡纛島面牧里李德俊方の土幕內に五日午前一時頃十四五歲位の乞食鮮人少女が心臟病にて死亡せるを發見したるも身元判明せず死體は假埋葬せり

南行列車中の鈴木海軍中佐

◉露西亞艦隊の強味

國民の深かい信賴—鈴木海軍中佐談

大正三年の三月以來露國大使館附武官として露西亞に滯在した海軍中佐鈴木乙免氏は今回歸朝の途次八日午後七時五十分南大門驛通過の列車にて南行せり、車中に訪へば龍山より溝口步兵大佐の乘込むあり、釜屋海軍少將又要談のため永登浦まで同車するあり談笑頻りなり、中佐曰く

一昨年の九月に戰艦巡洋艦各九隻を始め驅逐艦潜水艇等約卅隻を以て波羅的海に現はれた獨逸艦隊が灣口の

♣水雷掃海を 行なひつゝ主力艦隊を遠く灣の外側に置き巡洋艦二三隻を以て波羅的艦隊の根據地なるリガ灣を襲ひ漸く巡洋艦一隻が灣內に入つたのみで何等得る所無く波羅的艦隊のために擊攘されて以來

♣獨逸の艦隊 は波羅的海にも黑海にも一切姿を見せない、隨つて今日まで未だ露獨間に於いては驅逐艦や潜水艇の小ぜり合はあつたが主力艦隊の華々しい海戰は一回も行はれない、然らば露西亞の海軍は何をしてゐるかといふに一體露國

♣海軍の主力 と言へば超弩級戰艦四隻巡洋艦十四隻その他驅逐艦潜水艇より成る波羅的艦隊と戰艦二隻巡洋艦四隻その他の諸艦より成る黑海艦隊なのであるが冬季に於ては芬蘭灣の如き十一月以降三月まで波羅的海にあつては約

♣二箇月結氷 するを以て全く行動を起す事が出來ず各根據地に入て解氷後に於ける策戰計畫を立てる外は無い然しながら各沿岸附近には機械水雷の沈置主力艦隊の遊弋によつて

♣極力防備を 嚴にしてゐる外にリバープル、ダニューブ方面に於て兵員及び軍需品の輸送は勿論此の方面の陸軍の行動を援けてゐる、露西亞の海軍は獨逸に比べては殆んど角力にならぬ程ではあるが

♣獨逸の主力 艦隊の來襲が出來ないだけに頗る味である海軍の充實計畫については露西亞では可なり注意を拂はれてゐる、その證據には日露戰爭後に於いて大なる創痍を受けた海軍の復舊計畫を立てた

♣現海軍大臣 のグリゴロウヰッチ大將はあの輿々として交迭する內閣員中で今度の交迭まで前後六年間海軍大臣の職に留まつてゐる、勿論之れは皇帝の御信任の厚いのによるが國民一般からも非常なる信賴を受けてゐるからである、

町內のご自慢

▲長谷川町▼ 床かしい古跡に富む

□國際談判がなかなか纏まらない

總督長谷川大將の名に負ふた長谷川町通りは二三年前から今の八間道路となつた其以前は狹い不潔な坂道で附近に支那領事館が設けられた關係から町一帶は支那市街の形をなし陰慘な新樓旗亭の下には支那の阿片窟なども蔓こつて居た

◆今でも大きな支那の料理屋では金谷園同春樓などがありそれに支那風呂支那芝居小舍なども在つた(小舍は只今日本基督教會と變つた)それに古きむかしを尋ぬれば朝鮮ホテル一帶は圜丘宮のあつたところでホテルの後庭圜丘壇は日清戰爭後朝鮮の獨立を記念したものであるさうな、それに朝鮮銀行裏の大觀亭は時の長谷川軍司令官以來安東軍司令官

◆立花師團長などの官邸にあてられたところ晩餐の頃には花構城の空に鴉しきりに飛ぶ次に共進會以來お向ひに出來た嫌でんの長屋は獨逸人ゴルシャツキーの貸屋で以前から空屋が多かつたが今は辛うじて借手が出來た、家賃は廣い家で四十圓、狹いので廿五圓だ相なが籠のやうな家で日本人は閉口するとか、お次ぎの朝鮮ホテルは鐵道局の商賣、近來は此のホテルが出來た爲めに

長谷川町　安東貞一郎君

◆京城に足を停める外人が◆尠なくないとは何よりも結構、近々西大門外のセールフレザー商會も此の近所に事務所を新築するといふ噂、お向ひには米人の自動車屋と骨董屋があつて朝鮮簞笥は盛に米國へ輸出される、近所では自動車よりも骨董の方が儲かるらしい、さて町の北端には元の廣江商會が立つた東亞の實業工場あり書畫研究會の○○さん、前の鼎商會は三十八年以來の町の古株、それに近頃空家となつた步兵隊はむかしから日本軍隊の駐屯したところで町の人はもうソロソロ拂下げて貰ひたいやうな口吻、總代さんは安東病院長に願ひたいといへどまだ決定まらぬとのはなし、此の町の戶數は內地人五十戶餘で他は獨逸や中華民國や亞米利加やらの寄合世帶、いつも國際談判がなかなかまとまらず閉口すると總代さんはこぼす

◉丸髷、賭博、懲役

七日京城地方法院の刑事法廷に丸髷姿の女將らしき女が入廷せり此の女は名古屋市中區西川端町生れ當時咸南咸興新昌里居住の料理屋の女將安藤はつ(三七)といひ一月十二日名登楼客なる沼田重雄外一名と共に現金賭けの賭博を開帳中檢擧され以前にも罰せられたることあるより咸興地方法院にて懲役一箇月の判決を受けしも不服として控訴したるものにて抽鑑別任の係りにて控訴棄却の判決を受けすごすごと退廷したり

祝陸軍記念日
京城府龍山元町一丁目
堀田味噌製造所
電話一五八番

祝陸軍記念日
京城府龍山元町
關西商會 釀造所
電話三九番

祝陸軍記念日
朝鮮駐箚軍司令部 師團司令部 陸軍諸官衙御用達
軍隊用品一式販賣
京城府龍山漢江通八
安藤誠一
電話五三六番 振替請願中
其人向の品物は何でもあります御一報次第御送付致升

祝陸軍記念日
和洋皮革、靴原料 附屬品一切
京城南大門通一丁目
北村皮革直輸入店
電話一八四六番 電略(〇イ)

祝陸軍記念日
龍山水產株式會社
電話一一五番

祝陸軍記念日
陸軍御用達
合資最上醬油釀造元
合資精選味噌製造元
共同火災保險株式會社代理店
京城府龍山元町二丁目
兼古商會
電話一四一番

祝陸軍記念日
京城
新町遊廓
組合員一同

祝陸軍記念日

三月新音譜 第一回荷著
三月號音譜澤山著荷鷲印音譜は定價の五割引桃太郎印は一枚金二十錢也
目錄贈呈
遞貨箱代實費申受
桃太郎印音譜著荷
京城本町二丁目
日本蓄音器商會
電話一二八三番 振替京城六八四番

祝陸軍記念日
我社の製革は强靭にして舶來品を凌ぐ
良品は經濟なり
永登浦
朝鮮皮革株式會社
京城南大門通
朝鮮皮革株式會社販賣店
電話一〇八二番
我社の製革は堅牢にして耐久力に富む
而して價格は頗る低廉也

…前九時釜山入港高麗丸二三等客… 三月八日午後九時釜山入港高麗丸… 課題及び募集規定 ■募集規程 天氣 北西の晴曇

…鮮人は一圓を渡して爰りし廿五錢に連れ來りしが該鮮人は釜山府大新…

●連絡船上陸客 三月八日午后…

龍山練兵場で擧行さるべき 壯烈なる記念演習

十日の陸軍記念日には午後一時から龍山練兵場に於て步騎砲兵各部隊が參加して陣地攻防演習を行ふ事に成つて居る今東西兩軍の想定に依つて勇壯なる戰鬪演習を豫想して見ると當日の攻擊軍である西軍の左翼隊は步兵七十八聯隊第三大隊機關銃一小隊騎兵一小隊野砲兵一小隊を以て編成せられ步兵第七十八聯隊第三大隊小林小佐之れが指揮官となり三月十日午後一時善隣商業學校附近に展開し東方なる騎兵營北方高地の敵に對し攻擊を開始する此の時に當つて西軍の主力部隊(假想)は全力を擧げて貯水池以南の地區から師團司令部の西方高地に據る東軍に對して猛烈なる攻擊を繼續中で之れに對抗する東軍即ち防禦軍は其の假想主力を以て漢江右岸に沿ひて東進中である西軍を阻止すべき任務を持つて三月十日朝龍山附近に陣地を占め其の假想主力を以て師團司令部の西方一帶の高地に據り其の右翼隊を以て騎兵營北方の作業山を占領し騎兵小隊を其の右翼に置き此の方面の警戒に當らしめて居り即ち練兵場附近に於て劍戟相磨す戰鬪を交ゆる部隊は此の防禦軍の右翼部隊と攻擊軍の左翼部隊で騎兵營北方作業山を據守する防禦軍の右翼隊は朝鮮步兵二中隊機關銃一小隊野砲兵一小隊を以て成り朝鮮步兵隊正尉鄭炫氏之れが指揮をとり午後一時を報ずる頃より善隣商業學校附近に展開したる攻擊軍の左翼隊は防禦陣地より躍射する砲火を冐し躍進又躍進突擊に移り東軍の右翼陣地を奪略する筈であるが突擊は午後一時二十七分前後なるべく觀覽者は三阪通の阜丘附近が最も好位置であらう、十日午後陣地攻防演習が終ると直ちに軍樂隊の奏樂に伴れ晴れ〳〵しき高等馬術あり猶同時に勇壯なる部隊劍術、對抗試合等の催がある筈である

♣秋山軍司令官の官民千餘名招待

十日の陸軍記念日には秋山軍司令官が龍山偕交社長の名を以て府内の官民約一千名を招待し練兵場の陣地攻防演習、高等馬術、對抗試合等の終りたる後來賓は直ちに軍司令官邸の式場に入る式の順序は爆竹を以て開式の合圖とし秋山大將の記念式開式の挨拶、君が代奏樂に次で　天皇陛下の萬歲三唱立食の饗宴ある筈で同日招待せられたる將校同相當官は通常禮裝其他は相當の禮裝を爲るやうにとのことである

♣餘興、奏樂、博多仁輪加、兵士の相撲

軍司令官々邸に於ては記念祝賀式の終りを告げると同時に午後二時半頃から餘興が開始される餘興場は前日以來善美を盡して裝飾せられたる舞臺にて奏樂、博多仁輪加等があり庭上では設けの土俵四本柱で軍隊相撲もあり同時に園遊會模擬店等が開始される事に成つて居る

♣午後一時からは聯隊兵舍開放

十日午後一時から五時迄步兵第七十八聯隊では營内を開放し現行各種兵科の被服、各種兵器、陣中に要する各種の攻防用器具材料等を陳列し說明者を附して内鮮人を問はず一般公衆の縱覽を許す事に成つて居る猶軍隊の内部生活を公開觀覽せしめて一般の軍隊に對する智識の涵養を目的とし第二、第六、第九の各中隊を開放し兵士の常住起臥の狀況を觀覽させる筈であるが龍山の兵營を開放するのはこれを以て嚆矢とする

▽奉天北陵—乃木軍の迂回攻擊目標たりし

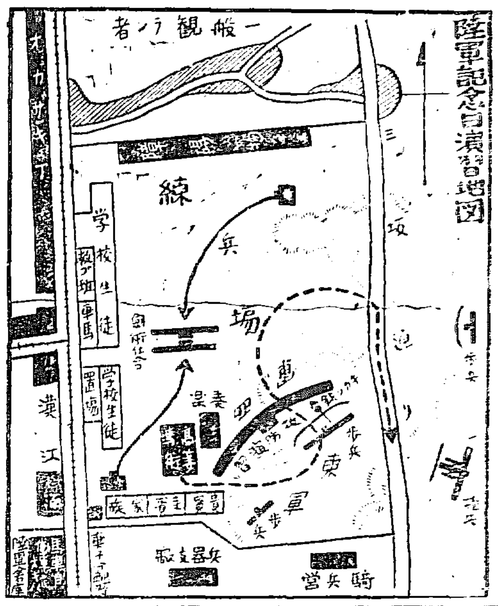
♣酒保を觀覽者のために公開する

十日午後一時から兵營内觀覽者の爲め陸軍にては將校集會所を一般の休憩室に充て又酒保を開放して當日は一般公衆に軍人と同樣に煙草、酒、パン等を販賣する事に成つて居るから當日は誰でも營内を觀覽し酒保から酒其他の間食物を買ふ事が能きる

♣小學校生徒七千名の參列

十日練兵場の陣地攻防演習及び各種の演武參觀の爲め京城府内の各學校から約七千名の生徒が參列する事に成つて居るが秋山軍司令官は之等參觀の學生に對し其れ〳〵菓子を寄贈し頒配する筈である猶當日は諸學校の希望に由り軍事講話の爲め將校を派遣される

陸軍記念日演習地圖



一夜の室代が二十八留 眼の玉の飛び出やうに物價の高い露西亞

丁抹は畜産の盛な處だが就中牛乳業は最も發達し國内到る處に牛乳組合があつてお互に連絡を保ちドン〳〵外へ出してゐるので鐵道沿線などは各驛共牛乳の鑵が山を造つてゐる

◎僕の歩いた處で一等いゝ土地だと思つたのは佛國の南方に當るニースだつた、モナコやモンテカーロなども見たが此の邊は馬鹿に氣候が能くニースに行つたのは十二月の中旬だつたけれど鳥啼き花咲いて全く

◎常春の國であつた、瑞西は景色もいゝ遊覽の便も至れり盡せりではあるが僕は矢張りニースの方に思出が多い、瑞西といへば交戰國側に挾まつた小さな國は

◎誠に慘目なもので同國などは從來食料品を佛國に仰ぎ工業原料は獨逸に需めて暮らしてゐたのだが今では佛に賴れば獨が目を剝き獨に行けば佛が怒鳴る

◎三億萬圓からの借金を造つて漸つと中立を防衞してゐるといふ有樣で、若し中立が出來なくなつたら一層聯邦を解いて國を瓦解しようとすら云つてゐる、ナニ物價は何處が高い?と其れは阿米利加と

◎露西亞に及ぶ國は無い、ペテログラードでは第二流のホテルに泊つたのだけれども一夜の間代に二十八留をせしめられ晝夜にオムレツ一皿を買つて三留半を引むだくられたのには輕倒した、僕は

◎シベリア線で面白い露人と乘り合はせ莫斯科なども同人の案内で見物したが此の先生僕が薄つぺらな外套を持つてゐるのを見て頻りに買つて呉れ〳〵と哀願する、斯なものを如何するのかと聞くと

◎自分は未だ莫斯科にも滯在せなくちやならん其れに戰線に近い處まで出掛けるだから是非外套が必要だ、然るに衞くが高くては到底も外套などは買つてゐられない、君は安い處へ行つて新しい奴を買つたらいゝぢやないかといふ

◎ナンでもペトログラードなどでは一寸著られる程度の外套は二百留以上もするさうだ此の先生莫斯科で生卵子が喰いたいと仰言り市内を漁るに唯だの一個も賣つてゐない露國では

◎此の現狀を輸送力が足らぬからだといつてるけれど此の廣い農耕地を控へて斯んな狀態だとは情なさ過ぎる、之れは輸送力の不足にも依るだらうが從來此の邊の商人は大抵獨逸人で露人は其の消費者だつたのが

◎急に獨逸人が居なくなつた爲め供給の途に面喰つてゐる結果でないかと思ふ其れから聯合國側に對して最も注意す可きは旅行者の談話や新聞の記事である、英國でも佛國でもまた此の露國でも日本人の態度や

◎新聞紙には近來非常な注意を拂つてゐる、協商側を賞めたり、聯合國側を貶す抔のことは勿論戰爭が續けば日本は金が儲かるからいゝ抔といふ樣なことを云つたり、書いたりすることは

◎聯合國側に取つては絕對の禁物である、英國抔では本邦某會社の出張員が某新聞社に迂濶に口を辷らした爲め遂に居たゝまらぬ樣になつた事すらある、之れは單に聯合國側の感情を害するのみでは濟まないで彼地の

◎在住邦人に對して亦た非常な惡影響を及ぼすさうだ身分の上下位置の如何に拘らず、歐洲に遊ぶ日本の旅客は此の點に就いては愼重な態度が必要であると共に新聞紙も亦た深甚の注意を拂はなければならぬことである(入見農務課長の談)

◎病を苦にして自殺

京畿道加平郡下面新上里劉深奉妻吳氏(四二)は一日午前二時頃自宅溫突内にて苛性曹達を飲用して自殺を企てたりとの急報に接し京城分隊驛里派遣所より憲兵出張檢視せしが家人が應急手當を加へしも同日午後三時絕命せり原因は病氣を苦にしたるものなりと

◎空家に倒れ込む

京畿道楊州郡西宗面汝湖里金尙天(六二)は肺病に罹り三月二日春川郡南山外一面醫生梁聖煥方に受診の爲め赴く途中加平郡外西面上泉里洪鍾玉所有の空家に倒れ込みて遂に絕命し居るを發見し京城分隊淸平川派遣所より憲兵出張檢視の上屍體を家人へ引渡せり

讀者文藝(一等には五十錢の懸賞/〆切日は毎土曜)

▲箱め謎

鏡臺(一等)　京城　倉地霞川

番外佳作

▲龍山浦武良とみ子
▲仁川小柳間吉
▲京城池田米弘
▲京城晩翠亭

商況

債券現物特電

九日出來値(東京)

東洋拓殖 六三、五〇〇　京城電氣 六二、〇〇〇　朝鮮銀行 一八、一〇〇　[illegible] 一九、〇〇〇　[illegible] 三二、五〇〇

▲下旬付(芝居から)　▲箱め謎

公債直取引

九日出來値　[illegible]

深川在米特電

九日出來値　[illegible]

東京期米特電

九日前場　五月限　六、一〇、六、一〇、一四一七

大阪株式

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

八月限 一八、五七〇 … 七月限 一七、七四〇　[illegible]

下關期米特電

九日前場　寄付 一五、四九〇　中限 一五、六四〇　先限 [illegible]

雜報

仁川期米休會(停止)

中の仁川期米當中兩限の解合に付ては其後仲裁者より熱心折衝の勞を取りつゝあるも未だ解決の端緒をだに見出し得ず一方仲裁者は結局ある機運に至らば更に軟派を壓殺せんとする一方餘力あるものなり

猛進突擊と同事に軟派之に應じ防戰に努め

し結果は遂に昨後場の激戰を演じ相場は十三錢より三十錢に落込み更に四十錢に跳返すなど內地相場と趣を異にして

波瀾起し其取組高の如きは一節の五萬石

に上り勢ひなりしより取引所は直ちに仲買人を招集し協議する所ありしが議容易に纏まらず之に時間を費し同日後場は二節以降を休會に至りしが其後今朝に至るも協議纏まらず爲めに今前場の立會を不能ならしめ遂に

前場の臨時休會を帳簿整理の名に

て宣するに至れり市場は之が爲め一層甚だしく人心の動搖甚しく新聞なども大ならず此際取引所の處置如何に付多大の注目を拂ひつゝあるが何れにしても公平なる解決を告げ一時も早く立會を開始せん事を望まれつゝあり

●內地製粉持合

[illegible]…內地製粉は會社側に…

●和紙の卸値段

和紙類騰貴の由は既報の如くなるが貧窮の取引値段は思ひし程の變りなく市中問屋筋の卸値段を表ろ一月中に比ぶれば左の如し

△生漉美濃紙中品一九三十五圓(三圓高(柳美濃紙一各一圓より)上三十三圓中二十七圓下二十四圓機械美濃紙中十六圓五十錢(五十錢より)△生漉半紙中二十八圓(二圓上り)上三十四圓中二十四圓下十九圓機械漉紙十四圓(五十錢上り)△半切(約一圓上り)中二十六圓次二十三圓應紙中十四圓(一圓上り)下八圓五十錢

●朝鮮雜貨の活況

解氷期近づきて奥地よりの注文多く文具化粧品洋傘類皆高値に拘らず相應に荷動きあり市中よりの積出しは南は慶北忠南地方を限り忠北江原京畿道の全部と北は黄海道と咸南の一部に亘るものなれば半島の中部を横斷せる此大地域は

京城の勢力範圍に屬す

るものにして此雜貨の購買力の程度を計り得べきが諸品騰貴著しきより地方にては多少仕入れ手控の氣味なきに非ざれど概して値段構はぬ注文多きが如く賣れ口も

平年に幾割增

ならむと云ふ右中文具類は新學期前とて目下賣行活潑にして洋傘は今開屋筋より地方送りの最中ながら昨年に比べて幾分品落ちの物なほ二割位の高値に常ろべし鏡また安からず袋物にては皮革製造品殺し高價にして平年の五六割高なるも概ね賣行よろしき模樣也

●骨粉移出好況

京城産の骨粉は總て燐製骨粉にして一部は內地に肥料用に供せらるゝ外大抵內地向けにして目下貨物の停滯甚だしきにも拘らず

盛んに移送

されつゝあり仕向け地は前報通りの阪神地方にてこゝにて肥料に調合さるゝと地方送りとに分たるゝが骨粉拂底の折柄とて氣配よろしき模

●牛脂は不味

牛脂は需用期保合ひにて取引者一兩十錢見當に近きたれども人氣引き立たず殊に先月來內地相場低落せしため移出口も少なく依然不味の狀態にて市中呼び値は百斤

二十四圓

見當なるが石鹼製造初まらばこゝ幾分見直するならむとの氣構へも空賴みならむと云ふ者あり

●朝鮮紙の輸出難

三月に入りて朝鮮紙の需用增加し價格また多少騰貴せるがこれ例年の事にて從來暖さを高かりし內外の大注文は未だ

見本取引

のみに止まり何等實行されず開かずこれ此紙の需要ならぬは世既に定評ありて其用途販路に就ての計畫立つ程の者多ければ

產額甚だ少

くして京城にて僅かに一萬枚の買付けなすさへ相場張ふ程なれば到底大口の取引なし得べきにあらずされば新たに材料を需めて新規の製造を營まざる限りは內外の大注文に應じ難く目下之が原料たる楮其他の補給は品乏しくして主産地たる南鮮地方には內地より移入さるゝが如き狀況なれば製産增加を計らむとせば先づ之等耕作栽培より初めざるべからず之れ製造家の立場としては到底行はれ難き事なるを以て結局製產增加は[illegible]の見込たゝず只

輸移出

[illegible]に小口特種の注文に應じ得べきに過ぎざるべし最近市中値段左の如し各二千枚大壯紙百二十五圓大籠宜紙(御紙用)九十五圓見樣ハリ紙(俗に云ふ京鮮紙)上三十八圓次三十二圓同白紙十八圓枇杷十七圓慶州紙二十四圓咨府紙四十八圓

●金巾木綿類好況

綿布金巾類は春先需要を控へ買氣漸く進み來れると上海を經て輸入せられし綿布類の入品杜絕し在荷缺乏に本邦製品の荷動き頗る良好を告げ居れり一方內地市場は支那輸出の好望に細物漸次氣强き商狀を報じ居れるに連れ市場も追々活氣立ち居れり

下關相場

▲朝鮮白米も氣重し　共後內地期米の低落を演じたるより眼先安かるべしとの氣構へを以て自然買氣の進まざる爲其後一層賣れ行き鈍情にして

仁川米豆取引所仲買人
●三巴仲買店

仁川海岸町三丁目
電話一一二、一三一、一四二
振替口座京城四〇二

日 仲買店

仁川米豆取引所仲買人
電話(園)二八二番・二八三番

●再製鹽の拂底

[illegible]…再製鹽が燒鹽騰貴のため拂底せる如く再製鹽も諸地方の多かりし保合狀態…

●原鹽の貯藏額

[illegible]

見值多少の製出

[illegible]

●甲皮類高調

[illegible]

キッド皮 十錢高

[illegible]

●忠淸皮革會社の製品

[illegible]

仁川市現物場

▲穀入津二千餘俠　▲氣配變らず
▲正米入津五六百叺　▲氣配同事
▲大豆入津四五百叺　▲氣配同事

▲水原白米一八四叺　金泉玄米二七叺
一山白米一二四叺　一山粗　五六叺
沃川白米三二八叺　汗浦雜穀三三叺
砂里院黍　三二叺

釜山穀物市場(七日)

▲正米(又々十錢安)　本邦定期米は一進一退の商狀にして依然保合圈内を脫せずして本朝前寄は先五十錢と變らず入電あり今市場買方人は依然として精米口の必需庭師買にして內地定期米等鈍狀の折柄附値も安く米主も天然の恢復と共に產地よりの出盛りも相當あらんかの氣構へよりして手堅き弱氣持さは云へ相場の成行に應じたれば市況又々人氣不引立の商狀にして目立ちたる商談なくして相場は十錢安となれり

▲大豆　賣り物は先々ならある事とて餘り騰ながらず折柄本朝は帆船よりの買入現はれ商內ありたるも相場は依然として保合なり

總出來高二〇二八個、玄米一七二〇個、大豆三〇五個

生魚市場

▲京城日丸市場　絲魚釜山より鱈數内地より鰺來る總じて荷少しイ、ダコの初物あり本日建値如左

ヒ六〇、アマダイ一七、チヌダイ一六、ブリ一一、ヒラメ一九、アナゴ九、シビ三五、タコ一〇、ボラ八、イヽダコ一五、アワビ三圓、コチ八、カキ一三

▲釜山水產市場(八日)　入船數百〇二隻、十九圓△たい三十圓△あわび十六圓△ひらめ十一圓△さわら二十圓△ぼら十一圓△なまこ七圓△くじら十圓△ぶり十七圓△いわし四圓△雜魚七圓　水揚高千二百二一一圓四十七錢

仁川期米

▲九日前場

▲前場休會

昨後場に於ける意外の大激戰は忽ち市場の問題に上り是が措置に就き當々協議中なりしに今朝取引所より各仲買人を招集し種々協議中なるも

未だ解決不能

は爲めに前場の立會を不能ならしめ遂に取引所は定款第七十八條に依り協議整理の爲め前場臨時休會するの止むなき事となれり

▲休會に就き

今朝前場臨時休會に就き世上種々なる風說行はれ居るも一として取り止めたる事なく今尙取引所に仲買人を招集して協議中である果して如何なる解決を見るに至るや否やとして豫測し難き者あり何れは問題の推移に隨ひ詳報する處あるべし

▲兵庫前寄十五圓三十四錢大阪天候小雨前寄十五圓六十四錢と昨比より三錢高の入電二節六十二錢との移りなりし

期米 仁川米豆取引所仲買人 齋藤宗之助

仁川海岸町三丁目
電話(長)三六七・三六九
電略(サ)又は(ヤマサ)

賣買取組高

三月限 三萬七千二百五十石
四月限 九萬九百五十石
五月限 二萬八千四百石

青物だより

兩三日來移入多く値下ろ之を先月中に比ぶるに著しき相違あり今が食料品として値頃なるべし日城食料品市場十貫目建値如左

ホーレン草四〇〇、ウド八五〇、蕪二〇〇、水菜二二〇、ミツバ三八〇、甘藷一五〇また朝鮮大根は五十錢乃至八十錢、午蒡一二〇、人參八〇〇見當なり

小賣白米

現金賣　一等白米　十五錢五厘
　　　　　　　　　十五錢

京城正米

市況は依然として保合みなるも精米筋の買進まざる爲め相場は辛らく持合ひの姿なり

京城雜穀

▲荏子　內地不引合なると在荷多きため値引き立たず上物は十圓見當

▲小麥　手持筋賣り急げると內地安に推されて下向きつゝありて市中見當は八圓七十錢群山にては八圓五十錢の捨賀を唱へ居れり

▲大豆　依然釘付け也滿洲大豆は稍見直したる如きも內地崩きにより鮮內より移出捌けず又た假令値段折合ひ注文あるとも移送見込立たねば注文謝絕し居る有樣にて新商談なきが如し

▲色豆類は强硬　依然賣行き捗々しからずと雖も產地高不引合を楯に各手持筋の氣張り居る爲相變らず人氣强硬を極め居れり

▲大豆は拂物不味　本品は引續き出廻り勘なからわのみならず昨紙已記の如く產地沿線物は依然軟弱の情報ありたる折自然買氣の進まざる爲め矢張人氣面白からず然れども北韓物の如き上物は兎角產地高不引合を楯に各荷主の氣張り居る爲め人氣强く端川物二百五十叺許りは十一圓五十五錢に手合せ行はれ其の輸入は端川物千五十叺博川物三百九十叺元山物百叺全部長淵物取合せ四百叺等也

▲小豆は氣甘し　共後備中白小豆二十俵の廻著に過ぎざると北海產の如きは船腹の關係上目先一寸出廻り急なしとの氣構へを以て別に賣り急ぎ物あらずと雖も何分產地の如き軟弱の情報にあると米價も不勢なる勞々兎角買氣の進まざる爲め一層賣れ行き鈍情にして市況氣甘し

市況氣重く然れども產地より旅だ別に安き安報を傳へず一て賣り急ぎ物の現はれざる爲め僅かに市況保合居れり入著したるは百三十叺

南大門の廻穀

島致院豆一三〇叺、安養白米一八叺、砂里院雜豆四〇叺、開城粟二〇〇叺

祝陸軍記念日
京城黃金町二丁目
株式會社 日淸生命保險 朝鮮出張所
電話長一四九六番

祝陸軍記念日
京城黃金町二丁目
株式會社 太平生命保險 京城支部
電話長一四〇二番

東京麴町區有樂町一丁目四
明治公債株式會社
社長　駒林廣運
電話本局五一八九番
振替東京八七七〇番
京城黃金町二丁目一九四
明治公債朝鮮支部
支部長　保木森之助
電話一九〇八番
振替京城二五五〇

祝陸軍記念日
東京
株式會社 建物會社 京城支店
京城黃金町二丁目
電話一六八一番・一三八一番

祝陸軍記念日
內外果實靑物御專業
委託問屋 松原藏商店
京城南大門通り三丁目
電話(マ)長一一八三番
電略
振替口座京城一一八三番

祝陸軍記念日
石炭商 西崎商會
京城西小門町
電話七二七番

明君道中記

第八十一席　田邊南龍口演

小澤平太夫は病氣再發いたして枕も上らぬ重體となりました故兩人の門弟も心配いたし、間違ひでもあつてはならんから若先生の許へ知らせると、長州萩へ參つて居る新之助の處へ書面を遣はし平太夫の病氣重りしことを知せました、夜分は代る〳〵弟子が參つて看護をいたします、此方は彼の荒川玄蕃右國を立去つたと思ひしに左にあらずして近傍に身を潜めて平太夫の様子を覗つて居りますと、病氣益々重り枕も上らぬと聞きましたから是幸ひ或日充分に身支度をいたし、門弟逸平を伴れて夜陰密に小澤の道場へ忍び込み病室へ入つて來て様子を見ると平太夫は疲れてスヤ〳〵睡て居ります玄蕃は仕すましたりと一刀をスラリと引拔き上へ跨つた儘咽喉元を柄も貫れと一突きに刺しました故アツと云つて手足を慄き其儘息は絶ねた、是を見て玄蕃は莞爾笑ひ玄『ソレ逸平逃げろ』と兩人は庭へ飛び下り塀を乘越し何處ともなく逃失せました、此の物音に目を覺したる兩人の門弟、病室を見れば此の始末故○『ヤー大變だ』△『物取りの仕業か何にいたせ若先生の許へ知らせなければならん』と立騷いて居ります、したが、夜中のことであるから仕方が無い、夜明けを待つて他の門人衆の處へ沙汰をいたしました故大勢の門弟は直に集つて參りました○『肝賢の若先生が居なければ何うすることも出來ない早く迎ひを出したら宜からう』『何にしろ城内へお届けをしなければならん』と大騷ぎを遣つて居ります處へ、折こそ宜くも新之助が歸つて參りました、是は最初の知らせに平太夫の重病と聞いて毛利侯へ此の事を願つて御暇を願つて戻つて參りましたのでございます、新之助は玄關より上り家内の様子を見ると大勢門弟が集つて居りますから、ハツと思つて新『門弟衆新之助只今歸宅致したが先生にはお變りは無いか』始めて知つた門弟の柏木喜十郎が喜『オー若先生お歸り遊ばしましたか、大先生は大變なことになりました』新『何に大變とは』喜『貴下の御不在中四國浪人荒川玄蕃と申す者が參りまして、先生に立合を申込みましたが、御病氣故お斷はりになつたが、それをも肯ずに強ての試合、先生の爲に打負けましたを遺恨に思つて』新『何んと申す、遺恨に思つて暗殺せしとな、然て荒川玄蕃と申す奴は面體格好は何ういふ奴であるか』喜『年齡は三十五六、衣類の紋は下り藤となし、門弟の名は横山逸平』新『何か』喜『何でも是より柳川へ參るといふことを申して居りました』新『それにて委細相判つた、未だ遠くは行くまいから拙者は跡を追驅けて其の荒川玄蕃を討取り先生の怨みを晴さん、各々方は後の處を何分頼む』と云ひ捨て新之助は飛出したが、周防岩國より此の柳川に參るには是非錦川の邊を通らねばなりませんから勝手を知つて居ることゆゑ裏山傳ひに間道を突拔て先に着いて待受けて居ります、此方は荒川玄蕃小澤平太夫を討取つて其の怨みを晴し是より柳川の城下へ出やうと云ふ一門弟の逸平を伴て岩國の城下を離れて悠々と來かゝりました錦川の邊、玄蕃は足を止めて玄『コレ逸平此處は名代の錦川である、此處まで參ればもう大丈夫安心をいたして休息いたせ』逸『何にしろ氣急晴しをいたして快い心地にございます、然し後の騷ぎは大變でございませう』玄『其處とは何うでも宜い、是も武士の意地と申すものだ』と話をし暫時此處に休息をいたして居りました

京城府永樂町一商品陳列館通坂の上　花柳病　皮膚病　須古醫院　電話二一〇一番

春が來た〳〵　木村屋パンと　お菓子たもとに野へ山へ　（京城明治町　電話一八七〇）

三月十一日　九星
舊二月十八日壬子
本命　一白北　納　先勝
▲一白●能幹主義の事務ら日新事見合西方は [illegible]　▲二黑●先の見ゆる事多き日 [illegible]　▲三碧●穩當なる日 [illegible]　▲四綠●有望の日 [illegible]　▲五黄●ふと誤る [illegible]　▲六白● [illegible]　▲七赤●欣快の日 [illegible]　▲八白●貰かぶり論の事 [illegible]　▲九紫●物の破綻 [illegible]

訂正廣告
三月九日本紙上不動產競賣廣告中第貳期日參月貳拾壹日トアルハ參月貳拾四日午前拾時ノ誤ニ付茲ニ訂正ス
京城地方法院

自宅事務副業隨意
募集
〇〇〇〇自宅で出來る事務男女年齡不問簡易新案且つ將來大有望●收入確實多大希望者ハガキで照會せよ（他に類なき新業）
京都新門前仲ノ町　日本商工通信社

月やく なきにお困りの方は郵券參錢封入左記に御照會あれ妙藥知らす
京城黄金町三丁目　山田しづね

男女のひみつ
〇〇〇障害である
本病に罹ると人生無上の快樂を全うする事が出來ず隨つて夫婦の安情不可能にして一家の平和を損じ大切な子寶が得られぬ事もあれば決して等閑すべきではない
▲遺精早漏の人　▲夢精過漏の人　▲勃起衰弱の人　▲陰莖萎縮の人　▲神經衰弱の人　▲手淫過房より起るヒステリー症の人
[illegible]
美人　男女〇〇寫眞（サック付）縱五寸五分横四寸　五枚四十五錢　十枚八十錢（郵稅八錢）　大阪市中之島二百　美人堂

口演藝案内
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　櫻井町　大正館　電話八七三
●三月九日より引續き特別大興行 [illegible]
京城壽町　壽館　電話一〇五〇　三月十日午後六時より　主催　旭　鹿　會　筑前琵琶春季大演奏會
黄金館　早川演藝部　電話二六三七 [illegible]
明治町　浪花館　電話二六〇　毎夜讀物續き△柳生仙書傳（廣澤菊若）△寛政力士傳（廣澤照月）△若の娘（廣澤菊友）△豊臣三藏兒（京山…）△菊の樂△水戸漫遊記（京山…）△頭書心談（京山…）△小勇婦傳（廣澤昇菊）△義と勇（…）

子宮病血の道と　神疝湯　リウマチスに惱む人は

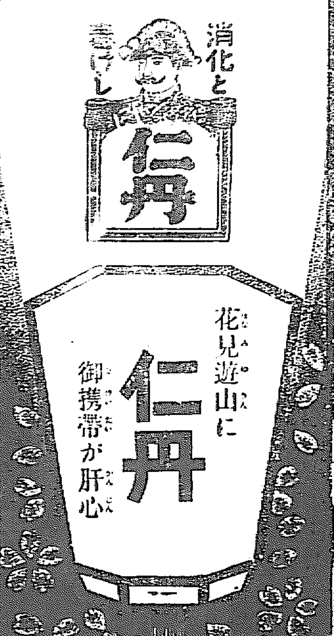
彼是迷ふ無く
最も能く効く良藥神疝湯を試よ現に百万手を盡も効なき難症の血の道や、多年不治のヒステリーや、年來の子宮病を始め御婦人方のリウマチス神經痛の方々が神疝湯の一服で快方に赴き遂にはスツカリ快癒し [illegible]
[illegible]
本舖　名古屋市東區京町二丁目　荒川長太郎　電話　振替口座

是れ十有餘年の精査研鑽を累ね莫大の資力を投じ絶大の苦辛を經て完成せる滿蒙利源開發無二の祕鑰
陸軍大臣大島健一閣下題字
陸軍省經理局長序文
西川關東都督府陸軍參謀長序文
關東都督府陸軍部編纂
滿蒙產業誌
内容詳細說明書御申越次第進呈
菊判上製函入七百五十餘頁地圖挿繪完備　定價三圓　郵稅十二錢

目次概要
[illegible]

發行所　東京市京橋區日吉町　民友社　振替東京一三一〇〇番
賣捌所　京城太平通一丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番
取次所　京城本町一丁目　大阪屋號　京城本町二丁目　巖松堂　京城本町一丁目　日韓書房　京城日報各地支局

小兒用大學目藥は眼科の大醫が專ら十歳以下の小兒の爲めに慇敏且周到なる注意の下に創製せられしものにて子供の爲めに信頼すべき目藥であります
定價拾錢
大阪　參天堂藥房



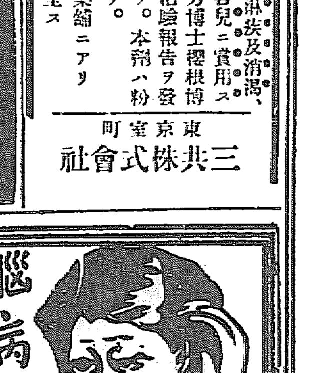
花見遊山に仁丹御携帶が肝心
金言　至誠は万世不朽の人道（森下）

淋疾内用
ブレノリン
本劑ハ「ヘキサメチーレンテトラアミン」ト硼酸トヲ結合セシメタル新化合體ニシテ「バルサム劑」ト異リ之ヲ連用スルモ毫モ胃腸ヲ害セズ容易ニ吸收セラレテ尿中ニ分泌シ尿量ヲ增加シ且殺菌作用偉大ナリ。
急性、慢性、淋疾及消渴、膀胱尿道加答兒ニ賞用ス
宇野博士緒方博士櫻根博士ハ本劑ノ治驗報告ヲ發表セラレタリ。本劑ハ粉末及錠劑アリ。
各地有名藥舖ニアリ
說明書進呈ス
東京室町　三共株式會社

故竹之助儀葬送の際は御多忙中にも不拘遠路御會葬被下難有仕合に存候略儀以紙上御禮申上候
三月八日
父　荒木助太郎
親戚總代　古賀勝二
　　　　　村津又兵衛
友人總代　奥田貞次郎
　　　　　加來榮太郎

簡單明瞭なる斬新の通信法　十日の練習共に捷に入る
哲理治療法通信教授
自分で自分の疾病を撲滅し惡癖を矯正し尚他にも施し得て修養として簡易なる職業として高尚なる本療法が如何なるものなるかを知らんと欲せば先づ規則書を請求して卒業生諸士に告白を聞け
釜山府大廳町一丁目三十番地　朝鮮健全哲學館

消渇で困る方多年もの慢性も
りん病
自宅で人知れず安全秘密に治す良藥あり只一劑を試よ此藥は他の藥店になし切手三錢添一日も早く申込あれ其良藥と自宅治療の詳細を教ゆ
名古屋市南かじや町　武藤亀吉

腦病良藥
レーベン

岡田博士を初め日向、飯島、福田、内田氏等十有餘名の諸大家が有効證明或は推奬せらる、本品は最高貴藥腦の營養素リンサンを多量に含有する無比の良藥なり故に腦病神經衰弱、頭痛、眩暈、不眠、記臆力減退等の腦病患者は最終の試藥として本劑を服用あれ、レーベンは容積と体裁を嵩らず服用量極めて少くして効顯極めて大なり
藥價（三十錢・五十錢・一圓・一圓六十錢）
東京銀座弓町　中南定太郎　電話京橋三〇八番
大阪安土町　中南定太郎　電話本三三〇七番
信用ある藥店に有り無ければ直接注文を

（明治三十九年九月十八日第三種郵便物認可）

京城日報
三月十日
（夕刊と合せて八頁）

陸軍記念日

軍備充實と國力培養
陸軍記念日に際し一言す
某將軍談

十三年目の奉天會戰記念日を迎ふるに當り轡を並べて[illegible]せる軍事的意見の一端を述べ國民の覺醒を促したいと思ふ。

▲歐洲大戰と日露の役

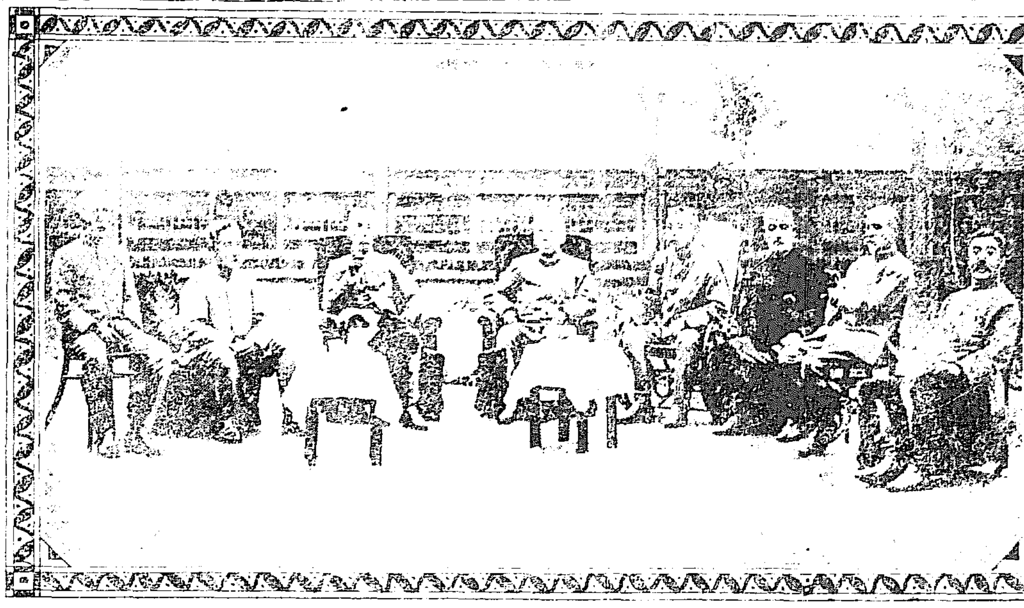
三十七八年役に於て振古未曾有と呼稱せられた彼の大戰も今日[illegible]はるる歐洲戰亂に比すれば實に物の數でもない、乃ち日露戰役に於ける兩軍の總兵力は約九十萬人に過ぎなかつた、歐戰の參加總員は一千八百萬人の多數に上つてゐる、死傷數も今日迄の所歐戰では一千六百五十萬人の多數に上り朝鮮在住人口より尚ほ多きを加へてゐるが日露役では總數三十七八萬人に過ぎなかつた、戰費も歐洲動亂は今日迄に既に一千三百億圓を消費してゐるが、日露戰爭では四十五億圓內外と云ふ、比較にならず更に歐洲戰爭の交戰面積は全世界の半ばに上ると云ふ有樣で、各國は此の大戰に對し其の人口及び富力を傾むけ盡すの觀がある、而して參戰の列强は少壯十七八歲より初老の五十五六歲に至る男子を徵發し、女子は男子に更り夫々として勞働に從事してゐる、壯丁の少ない獨國の如きは實に十四歲の年少より六十四五歲の老齡まで一國の危急の爲め召集を受けてゐると云ふ、實況で其の何れの方面より見るも之れを日露の戰役に比すれば規模の大小に於て天地霄壤の差があり比較にならないのである

▲國民の覺悟と決心

斯の如く聯合側及び同盟側とも國力を擧げて戰鬪に從つてゐるが此の大戰の現狀より觀察し將來起るべき國際的戰爭に打勝つて行かうとするには從前の如き覺悟と決心では決して十分でないのである、更に一層高調の覺悟と決心をなす必要がある、それには全國民を擧げて平時より軍備の充實と國力の培養を念とし國家の急に應ずる覺悟がなくてはならない、軍備の充實擴張の必要に就ては然に多言を須ひぬでも日本は男子皆兵の國ではあり何人にも異存はなからうと考ゆるのであるが、軍備充實國力培養と云ふ事は獨り軍隊や軍艦を殖やすのみの謂ひでない、農商工各々其の分に應じて國富を增進し國力を强固にし一致精進國家威力の發揚をなさねばならぬとの事である。現歐戰の實情より見るに將來の戰爭は武器の發達策戰の進步により今日より一層悲痛となり慘澹たる有樣を呈するであらう。而して國民をして一層塗炭の苦しみに陷らしむるであらう、然し其の慘澹たる戰爭を避け若くは開戰の止むなきに至つても慘禍の範圍を一層早からしむるには[illegible]て國民をして、悲慘なる戰爭の痛苦より脫せしむるには國家の戰鬪能力を充實せしむるに若くはない。國家の兵備を充實し戰力の擴發を意[illegible]されば國際政局に波瀾を湧起せしむる如き事はある程度迄之れを避け得べしと云ふも差支へないと思はるる

▲大和魂と獨佛魂

以上は物質上より軍國々民の覺悟を觀察したのであるが更に之れを精神的に見るも一言の禁ずべからざるものがある、現歐州戰爭に於て某國の[illegible]實際には自ら進んで捕虜となつたものもあると云ふ、然し又某國兵の中に[illegible]負傷しても敵兵に捕へらるるを潔しとせず、自ら爆彈に點火し自殺をしたと云ふ活きた實例もある、日本人には二千年來大和魂があり、無論自ら進んで俘虜となるやうな怯懦者は一人もないのであるが、但し戰場に於て奮戰力鬪するのは大和魂を有する日本人特有のもので[illegible]成程大和魂は日本特有のものであるが、獨逸には[illegible]あり、佛國には佛蘭西魂のある事は今回の戰爭に於て明らかに現はれてゐる、獨佛共に大和魂に劣らぬ魂を有することので、決して自ら傲り自ら高く持しては飛んだ間違ひを生ずるものと思ふ、要するに軍備の充實國力の培養をなすには國民一般が國家的の犧牲觀念を强め常に精勵勉[illegible]軍隊に於ては共同一致服從の美德と云ふ事を忘れぬやう一般の家庭に於ても將來軍國の大事を雙肩に荷ふ少年諸子の教育に心識しをして欲しいと考へる



奉天城內に於ける我軍主腦部
（陷落後山縣元帥當かに戰地に赴き滿大の我軍總司令部を訪ひし當時の撮影なり）
（右より）川村鴨綠江軍司令官、奧第二軍司令官、兒玉滿洲軍總參謀長、乃木第三軍司令官、大山滿洲軍總司令官、山縣參謀總長、野津第四軍司令官、黑木第一軍司令官

發行所 京城日報社
[illegible]

祝陸軍記念日
陶器が安い
今回各製產地と直接大特約をなし卸小賣共薄利多賣主義を以て貴需に應じ可申候間多小に不拘御用命の程偏に奉願候 敬白
京城府本町二丁目
電話一五五三 振替一五六
久保田陶器店

祝陸軍記念日
京城本町二丁目
雜貨卸商 森久本店
電話長三五〇番 振替京城一二番
電信略號（モ）（モリ）

祝陸軍記念日
專賣宮崎式[illegible]
京城府漢江通八番地 土木建築請負業
龍山 宮崎組事務所 電話五四二番
支店及出張所 大連、奉天、羅南、咸興
組主 宮崎吉太郎

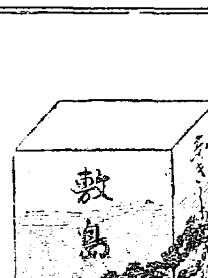
祝陸軍記念日
大和與次郎
大和社運送部 京城府漢江通（龍山郵便局前） 電話長四二〇番
京釜線平澤驛 大和社支店運送部

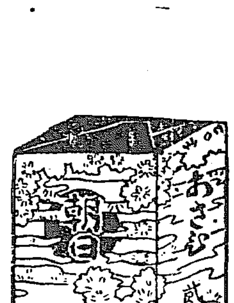
祝陸軍記念日
京城府龍山元町
八景園
電話四六番

祝陸軍記念日
金物商 京城南大門通三丁目
福田又京城支店
長電話一二二番

祝陸軍記念日
有隣生命保險株式會社
朝鮮支部
京城黃金町二丁目 電話長一三五六番

祝陸軍記念日
代表的煙草よ
汝の名は……人も知る
品質本位の





東亞煙草株式會社

祝陸軍記念日
不二興業株式會社
京城黃金町一丁目 電話長八八番 八六番
仁川支店 仁川府海岸通 電話五二番
群山支店 群山府本町通 電話長四七番 電略フニ
全羅北道益山郡王山里 王山里農場
平安北道龍川郡府羅面 西鮮農場

◎鄭家屯協定履行打合

張督軍は九日附を以て親日に關する告示を出せり尙鄭家屯事件責任者處罰に就ての命令は既に北京政府より張督軍の許に達し居り督軍は之れが履行方法に就き目下我領事館と協議中なり(奉天特電)

◎露巡洋艦水雷に觸る

伯林公報に依れば露國裝甲巡洋艦ルーリック號(一六、九三三噸)は芬蘭灣內に於て敷設水雷に觸れ多大の損傷を被りたりと(東京特電)

◎兩陛下御弔意

葉山御用邸御滯在中の天皇皇后兩陛下には本邦駐剳米國大使ガスリー氏卒去の趣聞し召され深甚の御弔意を表させ給ひ九日午後同國大統領ウヰルソン閣下に對し鄭重なる御弔電を御發送遊ばされたるが更に午後四時御使を靈南坂なる同國大使館に御差遣遊ばされ未亡人に對し鄭重なる御弔詞を傳へさせ給へり(東京特電)

◎澤田中尉陞叙

八日午後澤田中尉に對し左の通り叙位叙勳の御沙汰ありたり(東京特電)

陸軍工兵中尉 正七位勳六等 澤田秀
叙從六位勳五等授双光旭日章

◎祭粢料御下賜

長き逃にては八日飛行中墜落慘死を遂げたる澤田中尉に對し左の如く祭粢料下賜の御沙汰ありたり(東京特電)

金百五十圓 祭粢料

◎定例閣議內容

內閣定例閣議は九日午前十時より永田町首相官邸に於て開會首相以下各大臣出席(勝田、仲小路、加藤の三相缺席)劈頭豫て問題となり居れる商船武裝に關する件に就き審議の結果愈々武裝のことに決し次で帝國議會議長副議長の歳費及び旅費支給法中改正の件橫須賀軍港擴域改正に關する件臺灣總督府諸拂戾金豫備金支出の件製茶試驗所設置に關する建議案を附議決定し散會せり(東京特電)

◎國分長官春川著

國分司法部長官郷津檢事正は司法事務視察の爲め九日午後一時自動車にて春川著官民多數の出迎を受け旅館の春川旅館に投宿せるが十一日午後歸任の筈なり(春川特電)

◎獨逸公使などフン縛るさ

北京政府は落ち著かん……困つた獨公使の處分……支那關稅改正承認……日支新條約と間島……髭が白くなつた……

駐支公使 林權助男車中談

林駐支公使―九日夜京城通過北行せし―

九日の夜南大門驛通過の北行列車を西井里驛に迎ふ、其の特別車には北京へ歸任の途にある霜降春廣姿の林駐支公使、旅順の任地に歸らんとする白仁民政長官あり、長官の右腹部には勳一等瑞寶章燦然として光る公使は有名の新聞記者嫌ひなれど、此日頗る上機嫌にて其の

▲辛辣の皮肉も餘り出でず終始穩やかの口調續きたり、曰く最近に於ける北京政界の動搖、吾輩は現狀の儘で落ち著く事と思ふ、段總理も色々反對者排斥者は居るのであるが、無論留任するであらう、段氏が今回辭表を提出して突如天津に蟄つたのを如何にも彼が拗ねて芝居染みた擧措に出でたやうにとるのは敢て當らぬ、對獨斷交に關する國務院の方策を總統の前に齎らし、其の裁可を請ふて容れられなければ段として責任上其の地位を擲つ外はあるまい、又擲つのが當然であらう、結局總統が段總理の求めた裁可を拒み又各省督軍中聯合側加入反對を聲明してゐるやうに傳へらるゝのは必らずしも何れも

▲親獨の理由から出たのではない、總統が當時段總理の意見を用ゐなかつたのは對獨斷交の處置の如き一應國會に諮るのが適當だと云ふのにあつたらしく、各省督軍電請云々も全部事實と見るは不穩當、色々の細工が世間に交つてゐるのであらうよ、結局北京電報の如く外交方針は國務院決定通り進行する事と思ふ……駐支獨公使のヒンツエかい、死に物狂ひに奔走してゐるらしいね、ヂタバタしてゐるよ、所で先づ支獨國交斷絕は免れぬ所だが、愈々其の曉獨逸公使をどうして本國に歸すか、吾輩も歸任したら其の相談に與かるだらうと思つてゐる、ヒンツエを西伯利亞通過の筋道に出てさす事は露國もイヤだらう、が、それは聯合國で皆承知すまい、獨領バタビヤに押込むのも一策だらう、何となればヒンツエの如き惡辣な男をバタビヤなどに置いては怎んな陰謀を廻ぐらすか分つたものでない、危險至極だからだよツフフ……と笑ひつゝ彼んな男はフン縛つて拘禁するに限るのだ、それが一番好い、然し公に云ふと敵國人とは申せ公使さか何事とか云ふ連中は相當の保護を期へて立派に國に歸してやるのが本當だ……鳥山に著くと公使の竹馬の友

▲本田農學博士が乘込んで水原まで同車する『君も白くなつたね』博士が云ふ『何がかい』公使が振向く『ヒゲがだよ』眞白だ、それでも髮は長く伸ばしてゐる故か三四年前より濃くなつたやうに見ゆる、忙しいだらうね、忙しくつても繰合して今秋には狩獵に出て來たまへ』博士は笑ひ乍ら勸める『あゝ獵に出やう』と公使は朝鮮遠征を約した、水原より始興まで又記者等と語る、此頃八ケ釜しい支那の關稅改正はもう期限が來とるだの

▲帝國政府も其の改正には同意しとる、まだ何も支那から交涉がないと當局で云つてゐるのは從論が煩さいから態と隱しつゝある形さ然し之は極秘よ、唯其の內容を世評の如く現價五分にするや否やは未定だ、然し引上げらるゝ事にはなるであらう、夫れ日本の紡績業がドレ丈け打擊を受くるか、操業が出來ないやうになりつちや詰らなくよ、又今回の關稅改正を支那の聯合側加入と交換問題のやうに云ひ囃すのは誤まつとる

▲支那の參戰は參戰、關稅改正は關稅改正、兩者は別なもので混同しちやいけない……青島の處分問題かい、吾輩は夙に大に研究してゐるが、政府は吾輩程熱心でないやうだ、各國の意向、そんな事は多く頓著しないで是なりと信じたやうにやるさ、吾輩の腹案?……夫れはまだ發表の時期でない……間島の支那官憲が一昨年締結した日支新條約の效力間島に及ばずと主張してゐるのは事實だ、で土地所有權や商租權を與へない成程間島は滿洲の中でないと云へば云へない事もあるまい、然し條約の精神より見れば間島に當然及ぼすべきものと信ずる、正直に云ふと新條約締結當時日本の當局が間島も入るのだと云ふ事を念を押さなかつたのがアヤ手落ちだね、これは鮮人の間島發展上大問題だから相當の交涉は續けてゐる、吉長鐵道は今年の十一月に全通するのか、では當然吉林會寧間の吉會線も必らず問題になつて來るね、金はドコからでも出る、出來る、其の敷設の方法を吉長線同樣の形式に準ずる事は考へものだ……

▲朝鮮も發展した、吾輩の公使だつた十數年前、仁川から京城に出るのに道路がないから漢江に沿うて遡つた事がある、當時と今日とは隔世の感以上の差だ、死んだやうに眠つてゐた半島も非常に發展したのは賴母しい……ガスリー米國大使ガスリー氏が死んだ……不當か……と繰返しつゝ直ちに隨行員を呼んで弔電の發信を命じた……『ガスリー大使は餘程の老齡だつた、丁度出發する四日前吾輩は晩餐を大使に馳走されたが……其の老紳士が亡くなつた、吾輩には嘘のやうな氣がする、學者で仲々の人物だつた、惜しい事をしたものだ』云々

◎日支旅客聯絡會議

第五回日支旅客聯絡會議は來る四月上旬東京鐵道院に於て開催せらる可く支那側よりは京奉、京張、滬甯、津浦及び京漢の各鐵道代表者日本側よりは關係運輸機關即ち鐵道院鮮鐵及び滿鐵の各代表者列席す可しと

◎鮮鐵實博出品

來る三月十五日より五十日間東京不忍池畔に於て開催せらる可き奠都五十年記念博覽會に對し鐵道局よりの出品は歐亞聯絡鐵道模型、鴨綠江架橋模型及び景福宮慶會樓、大同江金剛山萬物相の大寫眞三葉を出品す可しと言ふ

◎取引停止問題

某當業者談

仁川米豆取引所に於ける取引狀態は逐年穩健なる發達を來したるは昨年の成績に徵しても瞭かにして本年に入りて一月限に一萬六千百五十石の受渡をなし今又二月限に二萬八千四百五十石の受渡し取引を爲し目下受渡中なるが

▲三月限は停止中なるも取組高三萬七千二百五十石四月限又九萬八千七百石あり先限は當中停止の爲め強弱雙方の戰線を延長し來る振合にて大いに取組を增大せん形勢を示し居れり然るに本月五日に至り取引所は突然當中兩限の賣買停止するに至りたるが之れ取引所定款第七十九條に依り停止したる者なるも事の急なりし爲め世間種々な批難する者もあり流言蜚語頻々として人心の動搖は極に達しつゝあり昨年末朝鮮米の露國輸出問題起りて各精米業者は月足ず輸出を企畫し今や其の

▲契約以外の大數に上れりとの說あるこそ該方面の將來に於て大いに行はれんとする矢先是れの需給關係たる取引所に於て買約定をなし以て一面輸出の契約を爲すの便あるより自然之を利用し某方面にては之を目して一時的定期の買占めなりと爲し揃賣の聲頗る大なる模樣なるが昨年來大受米を殘存し加工精搗して露國方面へ輸出したるに徵しても買方筋の根據薄弱ならずとは云ひ難し現に角取引所重役は當中兩限停止を嘗故として

▲解合委員を選定し之が解合を勸誘しつゝありとの事なるが雙方の主張に大なる隔りありて解合不調に終る可き形勢にあるを以て停止は更らに繼續されんとする模樣なるが此上停止を繼續せんか市場の人氣は徒らに動搖を來し公開せる公定市場の本能を發揮する能はざる爲めに朝鮮の米界に疑惧不安の念を惹起せしむるに至らん當事者たるもの速やかに停止を解くの途を講じ以て立合を一日も速く開始せざる可からざるなり(仁川)

◎公使長官通過

駐支公使林權助男關東都督府民政長官白仁武の兩氏は何れも歸任の途次九日午後九時四十分著(延著)列車にて南大門驛著總督代理副官大屋長官石塚總裁三島理事久水外事課長其他官民多數の送迎を受け貴賓室に小憩の後同十時發列車にて北行せり

◎鐵道保線長會議

來る十二日より鐵道局にては全線保線長を本局に召集し保線事務に關し打合せを行ふ可しと

◎小學校長會議

京畿道管內公立各小學校長會議第二日は九日午前九時より松永長官統裁の下に道廳構內官化堂に於て開催長官の訓示指示打合等あり午後四時散會せり

◎切田氏米國安著

善隣商業學校教諭切田太郎氏は過般米國視察の途に就きしが二月十日無事桑港に到著せりとの報あり

◎小平田警視著任期

大邱警察署長より京畿道警務部へ榮轉となりたる警視小平田十太郎氏は十一日午後九時南大門驛著の列車にて著任の豫定なりと

人事消息

▲泉崇吉氏(鮮銀群山支店長) 九日入京山本へ
▲福井武二郎氏(新安州精米業家) 同上
▲高橋銀太郎氏(大邱警察署長) 同上不知火へ
▲奥田榮氏(バグナル社員) 九日夜退京
▲大井憲兵中尉 同上
▲安田弘氏(鮮銀榮山支店長) 同上
▲坂本庸助氏(三井物產社員) 同上
▲宗貞直三郎氏(春川慈惠醫院長) 十一日朝退京の筈
▲三原金三氏(木浦模範場技師) 同上

■南言北語■

今日は陸軍記念日だ日露の戰役は現今の歐洲大戰を除けば近世に於ける最大戰爭として記されてある▲無論歐洲大戰とは較べものにはならぬが鳥渡兩戰役の比較をして見るも一興であらう▲日露戰役には彼我兩軍の動員數は合せて二百三十萬人死傷數約三十二萬戰費四千三百億▲今日の記念日になつて居る奉天戰は戰役中の最大戰で戰線延長三十五里に達した▲處で歐洲戰は今迄の處交戰國數が大小合せて十四箇國▲交戰國民は本土と殖民地とを合せば無慮九億チヨツト世界總人口の半數以上▲戰爭に從事して居る人員を概算すると聯合軍が約三千萬人以上▲同盟軍が二千二百萬人計五千萬人▲二箇年間の死傷數聯合軍が約一千萬人同盟軍が六百萬人計千六百萬人▲一日平均二萬人の犧牲となつて居る勘定である▲直接戰費としては聯合軍が約五百六十億同盟軍が三百五十億計九百億と云ふ巨額である▲昨今一日平均二億萬を計上して居るが英國一國丈けでも一日に五千萬は要る▲戰線を見ると露西亞方面が約三百里佛國方面が約百八十里伊太利方面が百十里だ▲が今日では總ての點に於て之よりズツト多くなつて居る▲或る物好が西部戰線の英佛獨軍が塹壕を造る爲め掘り起した土壤岩石を合算すると十億立方碼に達するさうだ▲其處で各方面の全線に亘つて各國軍が三箇年餘りに營んだ工程を積算すると恐ろしいものになる▲若し其の勞力を合せて地球の中心を貫通する隧道を掘るとすれば孔の直徑十四呎長さ八百哩の四個の複線隧道を穿つことが出來る▲而して地球の一方から他方まで汽車を運轉することも出來るとは從遍聞いても吃驚する▲斯う云ふ戰爭のモデルが出來たから之れから後の戰爭は何んな事になるかも知れぬ▲地球を突き通して地下から突擊軍が飛出なんて事をやる者が出來ぬとも限るまいテ

祝陸軍記念日

撫順炭 一日出炭 七千噸

■普通の通風により燃燒極良好毫も粘著性を表さず
■灰分炭滓最も少し故に罐替の度數を減じ得べく「クリンカー」を生ぜざるを以て「スライスパー」使用の必要なし
■全層百七十尺を通じて炭質を同ふす

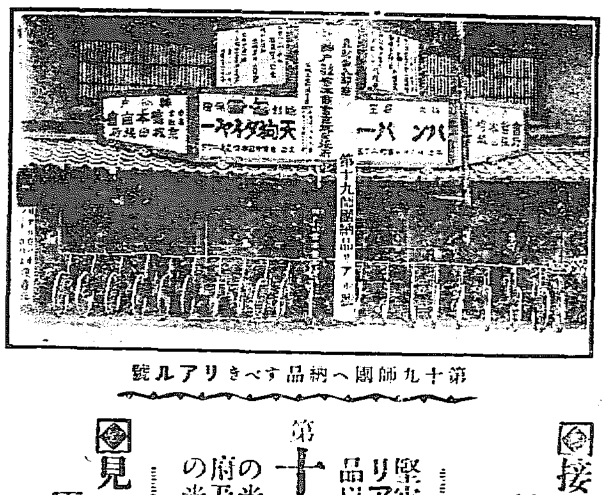
■本溪湖炭 ■撫順炭 ■煙台炭

■各種炭は龍山貯炭場に十分の貯炭致置候間直接當所又は特約店に御用命被仰付度候
■南滿鐵道沿線は一車二十五噸以上の御注文被下候節は一週間內に到著可仕候
■且又御使用向き御申聞け候へば石炭の性質を案じ尤も適當なる良炭を御供給可申上候

京城御成町
南滿洲鐵道株式會社鑛業部
販賣課京城出張所
電話長一七七〇番

英國ハンバー會社極東總代理店
英國天狗タイヤー直輸入元
ダンロープ護謨會社代理店
リアル自轉車、ノートン自轉車
アライヤンス自轉車及附屬品
タイヤ 頒發賣
直輸出入卸商
京城永樂町二丁目 神戸
合名會社 橋本商會 京城出張所
電話長一五七九番 電京城一七四番

リアル號の光榮



第十九師團へ納品すべきリアル號

◎接せよ!! 輪界を風靡せるリアル號に

堅牢輕快實用的最善最良のリアル號一昨年遞信局に納品以來今回軍用車として

第十九師團より御買上の光榮を賜り今回又復總督府及京城各官衙より御買上の光榮に接せり

◎見よ!! 優車は常に群輪を拔く

市內販賣店
永樂町二丁目 毎熊自轉車店
本町二丁目 足立自轉車店
南大門通 ミノヤ自轉車店
旭町 瀧川自轉車店
鍾路四丁目 德昌號本店
同二丁目 德昌號支店
其他全國到る處著名なる自轉車店にて販賣す

♣將校の留守宅から見た 奉天會戰の日
▽竹內軍副官夫人の談

◇暖かい日ざしが庭一ぱいにさし込む龍山榴町の軍司令部官舍、高級副官陸軍中佐の竹內榮喜氏の夫人は可愛いゝお孃さんのお髮を撫でながら語られる『日露戰爭の起りました當時主人はまだ陸軍大學に居りました ◇妾は主人の兄が早稻田に居りましたので其の前年から牛込に家を有ちました ◇動員令の下りましたのは恰度二月の初旬の頃、主人は直ぐに石州濱田の所屬聯隊に歸りましたが妾は產後一月あまりの時でございましたので東京の宅で見送り度い門出を送りました ◇其の時主人は第二十一聯隊附の大隊副官として步兵中尉で出征いたしましたが上陸地點などは一向知らせませんので留守居の者は些とも樣子が解りませんでした、其の後第五師團は第二軍に隸屬して遼東半島の得利寺の方面から北行するたよりがまゐりそれからば陽湖の村や高梁の畑など滿洲のたよりが度々屆きました ◇其の後寒さの黑溝臺ででは僅かのかすり傷を負ひまして主人は無事でございましたが可愛さうにそばの從卒は主人の身代りになつた報知もございました、次いで奉天會戰には肩に敵彈をうけましたがそれも野戰病院で癒りまして孝田度く凱旋することになりました、留守居の妾は小さい慰問袋などを拵へて居りましたが折々主人より後から出征された方などが結な戰死を遂ばしたたよりを聞きます度に遺族の方はさぞさ御身につまされました ◇其の後福岡に居ました時も主人は度々記念日のお話をいたして居りましたが出征の時產れた子供がもう十四歲になりました、つい昨日のやうに思はれますのに月日のたつのは早いものでございます……』

◎ゴルフの遊戯中に
米國大使の病狀＝篤實の君子人
昨秋朝鮮滿洲を漫遊した記憶

駐日米國大使ガスリー氏は八日晝食後駒澤運動場に赴きケネデー氏等數十名の友人と共にゴルフ遊戯を爲し愉快に運動中午後四時頃急に氣分惡しいとて ◇試合を中止し運動場に倒れ數回非常の嘔吐及び下痢を催したる後昏倒したる有樣に友人は直ちに聖路加病院に急報し院長及び高木兼寬博士自動車にて現場に急行し應急手當を加へたるも覺醒せざるより ◇自動車にて病院に運び種々の手當を加へたるも昏睡狀態を持續し午後八時十分に至り終に霍亂（急性腦胃加答兒）にて逝去せり（東京電話） ◇ジョージ、グブリュー、ガスリー氏の訃を齎らして菱田通譯官を其の官舍に訪ふ、黯然語つて曰はく御承知の如く氏はウヰルソン大統領の選ぶ處となり四年前駐日大使を命ぜられた人で ◇外交生活は之れが始めてゞあつたが資性溫厚篤實、風采典雅にして少しも傲慢の態度なく洵に米國外交官の典型たるに恥ぢぬ人であつた、氏は昨年十月鮮滿及び北京方面を漫遊した際往復とも朝鮮に立ち寄り自分は京城見物に ◇案內の勞を執つたが其の時氏は自分に向つて予は今日迄日本人と朝鮮人とは其の人種及び古代の文明に於て全く同一系統であると思つてゐたのであつたが愈々朝鮮に來て見ると朝鮮の人種及び文化は日本とも違ひ又支那とも異る樣に思ふと語られた、其處で自分は ◇此の頃日本の名古學者中には朝鮮の人種並に其の文化は南支那よりも蒙古により深い關係を持つてゐるといふ說を爲すものがあると話すと、氏はまた予も支那人に就いては是れ迄多少研究した事があるが朝鮮人は勿論南支那人とも違つてゐる樣だ、夫れは別として此の人民を見ると甚だ柔順なるものゝ如く彼の日本に於ける ◇臺灣の生番 或は米國に於けるピリツピンのモロー人種の樣に標悍者しくは野生的で無いから日本政府が指導の方法を誤ることなくば必ず忠良な陛下の臣民となるに相違ないとの事であつた、氏は千八百四十八年、鋼鐵業で有名なペンシルバニヤ州ピツバルクに生れ同市の ◇文法兩大學を卒業以來辯護士を業とし傍ら同市の商業會議所、貯蓄銀行評議員、市區改善協會及び慈善協會委員長を勤め又た民主黨支部長等の公職に在つて鄉閭の聲望を一身に鍾めてゐた人であつた、六十九歲を一期として溘焉として不歸の客となつたのは惜みても餘りある次第である

首席は平均九十四點
京城中學入學試驗及第者發表

▽及第者百五十三名……▽追加五十六名……▽子供よりも父兄が大心配……▽段々落付て來た受驗振り

三月九日午後三時半から京城中學校で入學試驗の成績發表が有つた此の間から寢る間も忘れる事の出來なかつた少年達が午後二時頃から集まつて來る小學校の受持の先生が七 ◇八人の生徒を引率して來るのもあるしお母樣やお父樣又はお祖母樣などが心配で堪らぬと見えて子供と一緒に來る人なども却々に多い姉さんや兄さん達まで附添つて來て廣い運動場は人波を打つて居る『三時に發表すると云ふのにまだかなあ』と待ち草臥れて居れるのもあれば『心配したつて仕方が無いや』で遊動圓木に集かつて居るのもあい『オーイもう貼り出すぞー』なんど云ふと ◇東西に人波を打つ『あ來た來たそれ貼るぞ』と見ると入學式は來る四月二日授業開始は同四日、及第者は保證書用紙を受取つて十五日迄に差出す事、寄宿舍は狹いから希望者はすぐに申出ろと云ふやうな揭示だつた、三時三十分と云ふに愈々成績が發表された、庭中に散らばつて居た人達が低い處へ流れ込む水のやうに一つ處に集つて來た成績表は眩ばゆい春の光の中にくる〳〵と展げられて行く『嬉しいぞ〳〵』『有つた〳〵』『大丈夫だ及第〳〵』と嬉しさに堪へられ[illegible]云つた聲が

◎其處にも此處にも

其の內に及第者百五十三名の姓名が揭げられて其の次に大田中學に收容せらるゝ事あるも承知であれば入學を許可すると云ふ條件付きの及第者五十六名の成績が發表されると『こりやつと生き延へつたやうな氣がした』『僕は此方の方に在る〳〵』とこちらも又大悅び校長の柴崎さんの話しに由ると年々入學生の成績が好くなつてゆく一昨年は最低が六十點昨年は七十點臺であつたが今年は本校入學の百五十三人の內の最低が八十點最高が九十四點總平均點數が八十一點と云ふ好成績で五六番以下は

◎殆んど同じ位の力

ばかりズラリと並んだ有樣です大田中學へ收容されても實情申さねの條件付の方と雖も其の成績は最低七十八點七十七點の平均點數であるから却々高かい近來の生徒は試驗準備が行き屆いて小學校の先生によく仕込められて居るものと見ゑて試驗場に這入つても恰惶てたり間誤付くやうな者はなく答案の文字だつて却々念入に奇麗に書いて時間の來るまではそれを

◎悠々と讀み返へし

て萬が一にも誤りの無い如うにと心掛けて居る處など大人も及ばぬ用意周到だ、首席で及第した稻成通君は西大門小學の高等科であるが尋常科として又全體の成績から云ふと櫻井小學校が一番に良い仁川、水原、永登浦等が二十名其他の地方小學校から約二十名の入學者が有つた、大田中學收容の

◎條件の付いて居る

生徒も大抵は大田に行かなくても濟むであらう何故かと云ふと大田に收容するにしても二年間は京城中學に居るのだから其の內には京城中學の方も增築されるに相違ないそうすれば結構大田へは移らずに濟むであらうとの事である

◎神樣にお願して

＝京城中學入學試驗成績發表の日＝親の方では神樣佛樣にお願ひして居る位ゐですのに、御當人の坊ンちいが案外平氣ですからもう氣が氣では無かつたんですがネまあお蔭さまでこんなに及第しましたとお母樣と親父樣のニコ〳〵

▲鮮人少年四名

京城中學入學試驗成績は別項の如く九日午後發表せられたるが及第者二百九名の內に韓昌熙、韓芳洙外二名の朝鮮人學生あり本年の入學試驗は例年になく受驗者何れも好成績にて其の及第者は容易ならず三百五十餘名の落第者を生じたる程なるに朝鮮人[illegible]

も良好の成績を以て及第したるは朝鮮人側父兄の意を強くするに足るべし

◎能樂界の泰斗 寶生九郎氏逝く

能樂界の泰斗寶生九郎氏は一週間前より風邪に罹り靜養中のところ九日午前二時心臟痲痺を起して死去せり享年八十一歲（東京特電）

◎舅と實子を殺害して自殺す

愛媛縣北宇和郡下灘村濱田彌助（三〇）は八日朝妻の父を途に要し出刃庖丁にて斬り付け重傷を負はせ續いて實子を殺害し返す刃に吾れと吾が腹を割きて自殺せり（大阪特電）

◎航空界の犧牲者澤田中尉は 決して左る卑怯な人ではない
中尉の爲めに惜むこよない風說

八日旅順に於て陸軍飛行機[illegible]死を遂げたる澤田中尉は[illegible]江戶兒にして[illegible]陸三十一[illegible]空間の勇者なるが中尉は昨年十二月滿洲に於ける酷寒大飛行の際目醒ましき飛行振を發揮して群衆を驚嘆せしめたり[illegible]生じ陸軍を去るべしとの噂あり或は自ら死を決せしに非ずやとの說あるも中尉は決してさる卑怯なる人物に非ず滿洲飛行の折にも斷じて飛行機より墜落せざるべしと確信し且つ揚言しゐたる程なれば今回の僞死も決してさる卑怯の行爲に出でたるものに非らざるべし因に中尉の實兄大野正平氏は奉天東亞煙草會社に勤務し目下歸國中なるが又中尉の實弟相田捨藏氏は大連滿鐵醫院に勤務中なり（奉天特電）

◎開帳中に踏込む 本町署の博徒狩

京城本町署にては管內居住の博徒を一擧せんと旣に內鮮人及び支那人十餘名を檢擧所罰する所ありしが二月十六日夜明治町二丁目杉原好水方にて車座になり花札を弄し本町署と賭をする現金賭けの博奕を開帳中多數の警官踏込み數名を引致し取調べの結果何れにも賭博をなしたる形跡あり此程各頭書の通り罰金刑を即決されたり▲慶尚道蔚山郡居住藤本谷三郎（四三）▲京城北米倉町奈良谷ふゆ（四五）明治町二丁目甘粕重市（三二）本町二丁目松村米三郎（五二）▲新町者川幸次（三九）▲明治町二丁目北局新三郎（四九）以上各罰金五十圓▲本町二丁目津田榮二郎（三一）同三十圓▲明治町二丁目杉原好水同四十圓

◎所持金を強奪

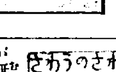
江原道伊川郡山內面花豐里金致鉉（二六）は二月十三日午後七時頃德源郡[illegible]鳳凰山洞李宗謙（三二）が行商の途次伊川郡樂壤面九峰里の共同墓地附近を進行中を捕へ同人の所持金九十圓を強奪し且つ木片小石等を以て頭部數個所を亂打したる上拇手を縛して松の木に結びつけ逃走したるものにて宗謙は翌朝里民に發見され急報に接したる支下里憲兵派遣所にては犯人嚴探中此程金致鉉を逮捕したり

◎主家から竊盜

慶南蔚山郡府內面玉橋洞雜貨商松重淺太郎方に雇はれゐたる同面鶴山洞生れの金先伊（二二）は昨年七月より本年一月十日迄に前後數十回に亙り主家の白木綿外百三十六點（百十餘圓）を竊取したること發覺し先伊は此程蔚山警察署に逮捕されたり

◎忘機吟社例會

忘機吟社今月例會は十一日午後一時より大和町三丁目普濟寺にて開會



さわうのさわう

八日の夜妙心寺の禪堂に盜棒が這入つた しかも結跏趺坐した三十名ばかりの居士が無念無想の座禪三昧に入つた九時前後だからいよ〳〵面白い▲盜棒は居士の一人の達磨の置物と間違ひ相なのを盜んで行かうかと思つたが百濟佛より賤くても困ると見切りをつけたものか大村翠雲居士の外套を失敬して往つた▲しかし盜棒も妙心寺をねらふ程の變りものとて門前には外套のお禮にアルミの鍋を置いて往つた▲アルミの鍋の考案は何う考へたものか知らぬが昨今『柏樹子の話に賊氣あり』を苦心中の大村さんには亡うて後ち大に得るところがあるかも知れぬ

祝陸軍記念日
朝鮮郵船株式會社

祝陸軍記念日
サクラビール
鈴木商店 京城出張所
京城本町二丁目電二九二四番

祝陸軍記念日
京城黃金町一丁目
三井物產株式會社
電話二六、七二四番、二一九番

祝陸軍記念日
—(土木建築請負業)—
順/いろは

今津組	大高工務局	大橋組	永田組	久保組	藤井組	藤田組	秋山組	木原組	白坂組
京城府漢江通 電話二一九番	京城府漢江通 電話六三六番	京城府漢江通 電話一〇八番	京城府元町 電話三四七番	京城府元町 電話三〇六番	京城府漢江通 電話六二一番	京城府元町 電話五五一番	京城府榮町 電話一三三番	京城府元町二丁目 電話二〇五番	京城府漢江通 電話二〇七番

怒濤の月

百二 小林蹴月作 武内桂舟畫

うたかた「十九」の一

『大變だから大變だよ。』と、顔白の一人が重ねて叫んだ。

『此の家のお静さんが今、蛇頭の頂上から海へ飛んで死んだとよ。』と、年頭らしいのが、五浦の方を指し為ながら言つた。

『なにツ、静さんが蛇頭の巖上から……ツ。』

幸三郎は、うむと言つて、地びたに坐つたぎり、後は口を利き得ずに了つたのである。

『なにツ、俺がお静が海へ飛んだと?』

家の中から逆蹴斗を打たぬばかりに、轉げ出て來た老婆は、その儘地草の上に尻腰を抜かして、目を白黒して居た。

物の三十分とも經たぬ間に、近所の漁師達五六人が、戸板の上へお静の汐に濡れ浸つた屍骸を横へて、毛布さへも掩はずに赤土を踏みしめながら舁き込んで來たのであつた。

『お袋、仔細は知られねだが、飛んだ事になつたもんだの。恰度今朝の風凪を計つて、彼の蛇頭の沖合に網を打つてるとの、今の先刻の事よ。徇然彼の嶮しい巖の頂上から飛び込んだ人間があるだから、急いで船を漕ぎ寄せて、わいやつとの思ひで、抱き上げる事は抱き上げたもの〻、お袋も知つての通り、彼の崖下の浪の荒さは、並一通りのこんでねだから、女の身體ぢや堪りつこねだよ。可哀さうに可惜花のやうな娘を此の姿だ。泣いたとて笑つたとて、もう追付く術はねえだから、約束と斷念めて、早く經帷子でも著換させてやらッしやれ。』

漁師達は、口々に悔みを述べて、一先づ立ち歸つたのである。

佛壇の前へ逆さ屏風を立て回し、その中へ横へられたお静の死顔は、左して手酷い痛みもなかつたものと見えて、宛然にまだ生きて居て、物をも言ひさうな容を為て居る。

『お静よ、汝が死ぬくれたなら、何故俺に一語云ても、然う言つて呉れなかつたやよ。[illegible]に、不甲斐に死ぬやうな事はあるめえだと思つて、油斷して居たのが、俺が一生の過失だ。かッ、可哀さうにの、十九や二十で死なさうと思つて、今日まで汝を育ては爲ねえだよ。今朝對座で話を爲た時、萬一遠い國へでも行くやうになつたらば……と、餘所ながら俺が腹の中を聞いた事を思ふと、彼の時から汝や、もうオッ死んで了ふ氣で居たもんと見ゑるだの。』

咽せ返り咽せ返りつゝ掻き口説く老婆の哀れさは、又格別であつた。幸三郎は、到底此の慘憺悲哀なる空氣の中に、腕を組んでは居られなくなつて來たのである。

『僕が殺したんだ。僕が殺したんだ。静さん、どんなにでも僕を怨んで呉れ給へよ。』

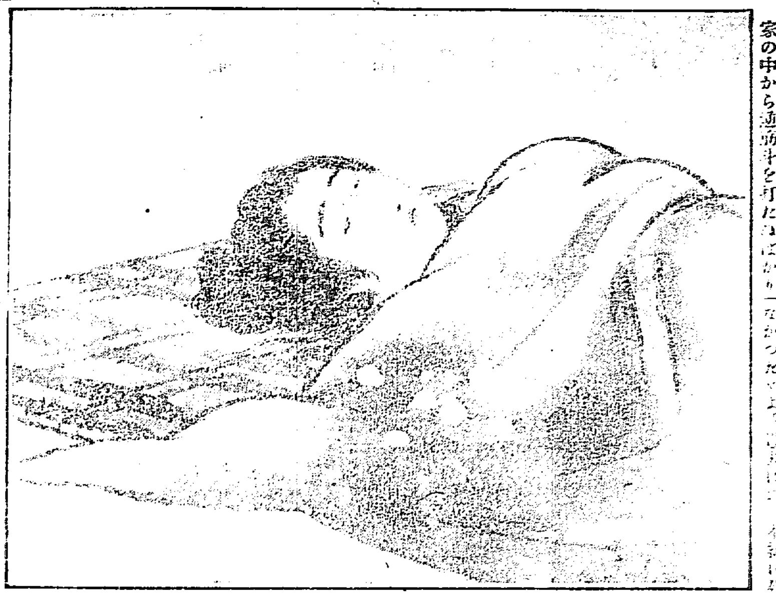
只僅かに是丈の事を言つて、お静の死顔の上に熱い〳〵涙をはら〳〵と落した。お静の死顔は首肯くやうに見られたのである。つい四五日前までは、真盛りに芳しい薫りを放つて居た老木の梅は、風もないのにちら〳〵と散つて、魚の鱗のやうに死骸の枕頭まで散り飛んで來るのが、何とも云へぬ淋しさを幸三郎に感せしめた。幸三郎は、泣いた。我が爲めにも泣いたが、お静の爲めにも亦、深き後悔の涙と哀愁の涙とを灑いで泣いたのであつた。

阿兄の義郎は歸つて來た。近所の人の知らせを受けて、[illegible]歸つて來たが、是迄でも等しく語よりは涙が先てあつた。今朝の出立間際に、アルミニユームの辨當函へ辨當を詰めて呉れた妹の顔と、今の此の變り果てた妹の姿を思ひ比べて、[illegible]涙の止所度を失つて了つたのである。

『義郎君、此の期に及んでは、もう何事も言ひません。本來ならば、のめ〳〵と俘らしてお二人の前に居られた義理ではありませんが、今夜のお通夜丈は、情願僕に爲して下さい。短かい僕ない夢の生涯を了つた静さんの霊に對する切てもの僕の赤心です。』

幸三郎は、思ひ入つて頼んだのであるが、老婆も義郎も、無言に顔を見合つて只涙を啜り上ぐるのみであつた。

春淺き夕暮の空氣は、身に沁みて冷かであつた。佛前の燈明は、とぼとして、今にも消ねさうに爲ては、又明るくなりつゝ、石蠟の如きお静の死顔を蒼白く照らした。



新刊紹介

▲大學評論(三月號) 總選擧の中心問題(關堂學人)選擧と官吏なものだ(バーナード・ショウ) 青年と學校(島波物土)最初の散跡から今後の新政治(小川大三郎)其他(二十八錢 東京市本郷區追分町一九其社)

▲講談落語新繪世界(春季特別號) オフセツト版口繪數葉の目的は何時も人の眼膚に讀談美談小説類が満載面白し(特價三十三錢東京市日本橋區スキヤ町九其社)

▲帝國青年(三月號) 本號には早起と心身鍛錬及び貞操問題なる兩題下に十數名士の意見及び論説を發表せり(十二錢東京市麹町區内幸町一の四其會)

▲第三十八議會報告書●●●●●●● 政友會の立場より見たる第三十八議會の迂餘曲折を略述し猶加藤總裁武富尾崎兩總務の演説、於ける諸説及び寺内首相の訓示に對する論評を附錄せり(非賣品東京市麹町區政友本部)

▲俳諧雑誌(三月號) 自分の虚子先生觀(前田普羅) 潘々子(武定巨口)等の外諸家の南さす日及び古人の句今人の句其他如例(十錢東京市麹町區有樂町一の一俳書堂)

▲人文(三月號) 日蓮上人の文章(小林一郎) 文展改革案(岩崎貞臣) 死(松浦一) 國文學紹介(姉崎正治)勝左衛門太郎(土屋新之助)等(十錢東京市小石川區白山御殿町一一七習生會事務所)

▲東洋時報(二月號) 歐洲戰亂と日支貿易(高生永助)植民地衛生(下瀬謙次郎)東蒙古に於ける天然曹達(鈴木達治)其他(五十錢東京市麹町區内山下町一の一東洋協會)

▲新演藝(三月號) 創刊以來與に一週年内容益々充實せるを見る口繪には如例石版コロタイプ彩色版寫眞版等代表的劇場に於ける名優の演劇寫眞数十あり記事亦演劇界に於ける消息批評研究雜錄等好劇家の見逃す可からざるもの滿載し猶東京演藝地圖を附錄す好甚たるを失はず(三十八錢東京市芝區公園地九玄文社)

▲愛知縣商品陳列館報告(二月號) 五錢 名古屋市其館

京日案内

普通 一回前金五十錢 番外 一回前金一回増し 一段名一回に拾錢増し

●制限利息信用融通 沿線有給の方へも(新龍山入口右側裏通) 龍山漢江通六番地七號 伊勢屋 666

▲營業部小供三名入用▼十六七歳小學校卒業身元確實保證人要す本人來社あれ 明治町日韓印刷株式會社 669

老舗の豆腐店 製造道具一切有姿の儘至急安價に讓渡たし 京城明治町二丁目三六 名藤 674

時代の要求により今回特に御便利を得る最も有望なる鮮人用下駄製造販賣の共同經營者望(姓名在社) 671

總通將月取の御方へ極秘迅速 京城大和町三の三二(納澤前)起木屋 637

男女社員採用希望の方は京城吉野町元中の新地 大日本新聞京滿支社

店員 數名入用 年齢十五六歳位小學校卒業者將來藥業希望の者にて身元確實なる者 京城明治町二丁目六三番地 藥品問屋 京城島久商店出張所

貸地 京城黄金町二丁目 三十坪 電話一〇五番 670

時計御商 喜多金光堂

恩給年金 證書確實保管電車停留場約一丁半上(元仲之新地入口向)京城吉野町一ノ六 扶助料即時 俵屋 613

朝鮮語科 英語科

廣橋自働車 京城南大門通一丁目 電話二一九番

恩給年金立替 京城櫻井町 博多屋 611

恩給 京城若草町 西村商會 647

ゴム風船〇ホーツキ 及玩具品各種製造定價表無料進呈 京城太平通二丁目 太陽ゴム商會 電話二六〇六番 658

商業登記公告

商號新設 商號 朝鮮人蔘製藥所 營業ノ種類製藥並ニ賣藥業 營業所京城府西小門町拾五番地 商號使用者ノ氏名住所同所 大野半八郎 大正六年參月五日登記

朝鮮製煉株式會社 取締役白寅基ハ大正六年貳月貳拾八日其ノ住所ヲ京城府樂園洞貳百八拾參番地ニ移轉シタリ

商號新設 商號 旭屋精肉店 營業ノ種類牛豚鷄肉販賣 營業ノ場所京城府旭町壹丁目貳百貳番地 商號使用者ノ氏名住所同所 大駄吉男 右大正六年參月八日登記

京城地方法院

生徒募集廣告

第一學年生徒六十名募集ス 入學出願期日三月廿六日限リ 入學試驗期日四月四日五日 詳細ハ二月三日官報ヲ見ヨ

仁川公立商業學校

簿記生徒募集

六ケ月卒業卒業後ハ銀行、會社、商店等ヘ確實ニ就職媒介ス規則書要二錢

京城明治町

京城簿記專修學校

祝陸軍記念日 京城本町三丁目 近藤金物商 電話一五六二番

祝陸軍記念日 京城本町三丁目 日用雜貨食料品商 下川商店 電話長一四九七〇番

祝陸軍記念日

眼鏡製作

今般眼鏡製作工所開設仕り候に付ては御注文に應じ御用命を以て御便利上候

九金新ナワ 九金 同 十四金 同 十八金 同 二十金 同 廿二金 同 十八金側ナシ

米國製金張玉付 甲乙丙

一ニッケル、鐵、物、用、眼鏡各種

タナカス、サウク十錢より各地方より御注文の節は代金引替にて御送付可候

京城本町一丁目(郵便局前)

中村メガネヤ

祝陸軍記念日 京城太平通二丁目 日本醬油株式會社 京城出張所 電話二四五番

祝陸軍記念日 京城明治町二丁目 京城魚市場 電話一四七八番

祝陸軍記念日 京城大和町一丁目 大倉組出張所 電話長二〇四番

祝陸軍記念日 京城義州通一丁目 朝鮮煙草株式會社 電話長一八七番

登錄商標 最上醬油 キツコーユ

京城 本店 鳥屋醬油釀造部 電話長九〇三番 振替京城二三五七〇番

京城北米倉町 市内販賣部

祝陸軍記念日 京城永樂町二丁目 和洋紙販賣 活版石版各印刷 播本商店 電話一二〇番 振替京城二一二〇番

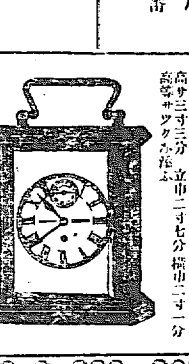
祝陸軍記念日 京城本町二丁目 花月 電話三五〇七番

祝陸軍紀念日 京城永樂町 清華亭 電話長八一二五三番

歐洲戰爭記念 新荷着 御披露

戰亂中佛國に於て製造されたる流金四方厚硝子八日卷 目醒付置時計 定價十六圓五十錢

高サ三寸三分 立巾二寸七分 横巾二寸一分



地方御注文は代金引替小包便にて御送付可仕候送料金二十九錢入外に美術金細工品取揃御用命願上候

京城本町二丁目 村木時計店京城支店 電話四七一番 振替京城二一九〇番

ステッキも色々あります

最新刊

現代落語者の群 九五

作家撰集 詳解漢和大字典

國民教育工業講話

口語法

人を中心として見たる當來の文藝及思潮

社會道徳 小學校行事の研究

國語の組織

主要語句文例英語の基礎

大正六年最近朝鮮事情要覽

獅子吼

無我の生活

佛蘭西文學

當世台道樂

講談文庫柳生十兵衛

同 戸田新八郎

トルストイ人道主義の真髓

近代情話文庫 三勝半七

金沙集

閑恭襲撃戰法

受験必携

京城本町一丁目 大阪屋號書店 電話六一・一二九 振替京城一二五七三番

和洋家具 増田本店

朝鮮郵船 出帆

本社 電話長一九五一番二一二番 鐵道會社及社外船と荷客連絡運送の便あり詳細は京城出張所代理店荷客取扱店に御問合被下度候 京城南大門驛前 荷客取扱店 松原運送店(電話長一七〇番) 門司より釜山各港寄港蔚山間航路

○全羅丸 三月廿六日 ○京畿丸 三月十一日 ○黄海丸 三月廿一日 ○成鏡丸 三月 日 釜山發

○穩城丸 三月十四日 ○昌平丸 三月十一日 ○鏡城丸 三月九日 元山發 元山より各港經由雄基行

○昌平丸 三月十九日 元山發 雄基港經由長崎行

○江陵丸 ○襄陽丸 毎日 浦項發 釜山發

○盛德丸 三月九日 釜山發 日本海九龍浦、浦項各港寄港慶興行

○三浦丸 三月十三日 釜山發 長承浦、統營、麗水、三千浦、木浦、濟州島各寄港

○海州丸 ○綾寶丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發 各港寄港

○平康丸 ○忠清丸 三月廿三日 元山發

○天草丸 三月 日 木浦發 鎮南浦行

○慶興丸 三月十一日 木浦發 各港經由濟州島行

○慶興丸 三月十四日 木浦發

○公州丸 三月九日 木浦發 各港經由濟州島行

○江原丸 三月九日 仁川發 芝罘、大連、青島行

○鹿水丸 ○晋州丸 三月十二日 三月十八日 仁川發 各港經由木浦行

○錦江丸 三月十一日 仁川發 海州他各港經由鎮南浦行

○潮州丸 三月 日 正午出帆 神戸、大阪行

○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發 江華島、橋洞島、海州行

共同汽船仁川出帆

伏見丸 三月十二日正午出帆 芝罘、大連行 三月十日午後入港

關東都督府命令船 大連にては南滿洲鐵道及び北中滿洲行き旅客取扱仕候

阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番) 野口商會

仁川代理店 元山代理店(電話二四七番) 京城取次店 南大門(電話二六八・一〇七) 回漕部 河村運送店

大阪商船仁川出帆

外支局航路は各港寄港の節連絡切符を御取扱致候

○油頭丸 三月十五日 正午出帆 木浦、釜山、門司、神戸、大阪行

○永田丸 三月十八日 後五時出帆

○湯浅丸 三月十一日

○天智丸 三月十一日 正午出帆 釜山、大阪行

○清州丸 三月 日

○木浦丸 三月十一日 後二時出帆 釜山、巌原、郷の浦、長崎行

○安東丸 三月廿七日

○群山丸 三月二十日 後二時出帆 釜山、横濱行

○福州丸 三月廿一日

○潮州丸 三月 日 後五時出帆 神戸、大阪行

○濟州丸 四月八日 後二時出帆 鎮南浦、大連行

○安東丸 三月廿二日

○大連直航 ○潮州丸 三月廿五日 ○福州丸 三月十五日 正午出帆

○清津、浦潮行(元山出帆) ○印八城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港

○安平丸 三月十五日 後十二時出帆

○宮島丸 三月廿一日

○上海、基隆、打狗行(大連出帆) ○基隆丸 三月十三日前六時出帆 ○北陸丸 三月廿九日後四時出帆

御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社と船車の連絡切符發賣致候 ●御乘船客は本船の連絡切符を御購入の上御利用願上候 △印は一等

京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話 二二〇番 三五番 内國通運會社支店

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行

○有川丸 三月 日後五時出帆 ○大吉丸 三月二十日後五時出帆 ○秀吉丸 三月十八日後五時出帆 ○君が代丸 三月十三日後五時出帆

仁川海岸通三丁目 電話五十九番 杉回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連行、太沽(天津)行

相模丸 三月二十日 正午出帆 花咲丸 三月十一日 正午出帆 新潟丸 三月 日 正午出帆

仁川海岸町十一丁目 電話 回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行

和歌浦丸 三月廿四日 後五時出帆 ○立神丸 三月十二日 後五時出帆

○元山、清津、浦鹽行

和歌浦丸 三月廿三日 後四時出帆 ○立神丸 三月 日 後四時出帆

○元山、西湖、城津、清津行

第三聖平丸 三月 日 後六時出帆

○門司、宇品、神戸、大阪行

第三聖平丸 三月 日 後六時出帆

○佐須奈、巌原、壹岐、博多行

天草丸 毎月二日、九日、十六日、廿三日 午後十時出帆

本船取扱店 釜山海岸通 大池回漕部

商況 大阪株式前電

後場も亦休會

市場の閑散

釜山先月水揚高